はじめに

この講座では「小論文」の作成の際に注意したいポイントを学びます。小論文では、学ぶために必要な知識・技能をもっているか、思考力・判断力・表現力があるか、そして学びに向かう力等が備わっているかを適切に評価することができます。例えば、次のような設問が挙げられます。

事例1

○ 熊本大学　文学部　一般選抜

次の課題文を読んで設問に答えなさい。

自然環境はなによりも、人間が生存し、生活を営むために欠くことのできない役割を果たす。人間をはじめとしてすべての生物が生存しうるために大気の存在が不可欠であることはいうまでもない。地表を包む大気をもつ天体は、これまで地球のほかにあまり多くは見つかっていない。地球が誕生してから四十六億年の長い年月が経ったが、その間に、数多くの偶然が重なって、地表を数十キロメートルにわたって覆う大気が形成された。その大気は水蒸気、酸素、窒素を主要成分として、二酸化炭素、メタンなどのいわゆる温室効果ガスがごく微量ではあるが存在して、地表大気平均気温を十五度(摂氏)に安定的に維持することが可能となるような構成をもつようになってきた。また、大気の外層を覆っているオゾン層は、太陽からの紫外線をほとんど完全に吸収して、生物が地上で生存できるような条件をつくってきた。

地表大気の平均気温が十五度前後に保たれることによって、赤道近くで暖まった湿気を含んだ大気が上昇して、地表のいたるところに降雨をもたらす主要な原動力となってきた。降雨のかたちで、水が地表のいたるところに循環することによって、土壌、森林、草原が形成され、さまざまな生物が生存しうる条件がつくり出され、地球上にはいたるところに美しい自然が形成されている。私たちの知っている天体のなかに、このような美しい自然がつくり出されている例は、地球の他に存在しない。

自然環境を経済学的に考察しようとするときに、まず留意しなければならないのは、自然環境に対して、人間が歴史的にどのようなかたちで関わりをもってきたかについてである。この問題は、広く、文化をどのようにとらえるかに関わるものであって、狭義の意味における経済学の枠組みのなかに埋没されてしまってはならない。

「文化」というとき、伝統的社会における文化の意味と、近代的社会において用いられる意味との間に本質的な差違が存在することをまず明確にしておきたい。

一八五四年、アメリカ・インディアンの酋長シヤトルがいったといわれるつぎの言葉は象徴的である。

「白人がわれわれの生き方を理解できないのはすでに周知のことである。白人にとって、一つの土地は、他の土地と同じような意味を持つ存在でしかない。白人は夜忍び込んできて、土地から、自分が必要とするものを何でもとってしまう余所者にすぎないからである。白人にとっては、大地は兄弟ではなく、敵である。一つの土地を征服しては、また次の土地に向かってゆく。……白人は、自らの母親でも、大地でも、自らの兄弟でも、また空までも、羊や宝石と同じように、売ったり、買ったり、台なしにしてしまったりすることのできる「もの」としか考えていない。白人は、貪欲に、大地を食いつくし、あとには荒涼たる砂漠だけしか残らない」

この問題について、一九九四年七月、ナイロビで開催されたＩＰＣＣ(Intergovernmental Panel on Climate Change：気象変動に関する政府間パネル)の「気象変化にかんする倫理的、社会的考察」のコンファレンスで発表された、アン・ハイデンライヒとデヴィッド・ホールマンの

事例1

○ 熊本大学　文学部　一般選抜（p.1の続き）

論文『From Sacred Being to Market Commodity : The Selling of the Commons?』（「売りに出されたコモンズ（※注）——聖なる存在から市場的財へ」）には含蓄深い考察が展開されている。

ハイデンライヒ＝ホールマンは、文化について、二つの異なった考え方が存在することを指摘する。

伝統的社会では、「文化」はつぎのような意味をもつ。「社会的に伝えられる行動様式、技術、信念、制度、さらに一つの社会ないしはコミュニティを特徴づけるような人間の働きと思想によって生み出されたものをすべて含めて、一つの総体としてとらえたもの」を意味する。他方、近代社会においては、「文化」は「知的ならびに芸術的な活動」に限定して考えるのが一般的である。

マサイ族の若者が「文化」というときには、同年代の若者たちのことを想起し、伝統的な制度のもとで、社会がどのように組織され、自然資源がどのように利用されているかに思いをいたす。しかし、北ヨーロッパの人々が「文化」というときには必ず、芸術、文学、音楽、劇場を意味している。

（宇沢弘文（うざわひろふみ）『社会的共通資本』による。原文を改めた箇所がある。）

※注　コモンズ……ある特定の人々の集団あるいはコミュニティにとって、その生活上ないし生存のために重要な役割を果たす希少資源、あるいはそのような希少資源を生み出す特定の場所。潅漑（かんがい）用水、漁場、森林、牧草地、焼き畑農耕地、原野、河川、海浜など。さらに、それらの利用に関して特定の規約を決めるような制度を指すこともある。

設　問

傍線部における筆者の考え方を課題文に即して説明し、「文化」と「自然環境」に対するあなたの意見を一〇〇〇字以内で述べなさい。

事例2

○ 新潟大学　法学部　前期

　現在、多くの民間企業で定年制が採用され、従業員は一定の年齢に達すると退職することとされている。もし仮に、法律により全ての民間企業に対して定年制の廃止を義務付けることが提案された場合、あなたはどのように考えるか。このような提案のメリット・デメリットを踏まえた上で、あなたの考えを論じよ。

事例3

○ 関東学院大学　看護学部　看護学科　総合型選抜

課題文を読み、設問に答えなさい。

　新型コロナウイルスの感染者数は、全国的に見て小康状態が続いている。世界保健機関（WHO）が日本国内のウイルス対策を「成功」と称賛するほど流行を抑えることができたのは、第一に医療従事者や感染症専門家らの奮闘があってこその結果と評価したい。

　強制力が伴わない自治体の自粛要請に応え、飲食店をはじめ商業施設の営業や不要不急の外出を控えた国民の生真面目さ、勤勉さも感染抑制に貢献したことは間違いない。

　一方で新型コロナの余波には懸念が残る。日本人の気質ゆえか、和を乱さずに国難を乗り切るべきだという心理や同調圧力が、非違行為につながっていたことも省みなければならない。

　その典型が「自粛警察」だろう。行政による自粛要請が守られているかどうか目を光らせ、外出する人や営業中の店舗を過度に批判したり、不利益や不公平感を排除しようと威圧的な態度を取ったりする行動が社会問題化した。（中略）

　ＮＰＯ法人全国ラジオ体操連盟（東京）はホームページと文書で４月、朝のラジオ体操会の休止を各地の主催団体や指導士に要請した。一義的には新型コロナ感染の抑止だが、「体操会をやめていないのは不謹慎だ」「感染の不安がある」とのクレームが連日、電話やメールで寄せられたことが背景にある。

　早朝のラジオ体操は公園や広場で行われており、「３密」は防げる環境だ。運動不足の解消のみならず、隣人同士の安否確認、コミュニティー維持の役割も果たす。コロナ禍でメンタルヘルス対策としても重要な活動が、自粛の同調圧力によって排斥された具体例と言える。

　新型コロナはまだ、撲滅には至っていない。感染の第２波の襲来は確実視されている。意に沿わない行動をただ攻撃するのは、成熟した社会ではない。幅広い視点に立って物事の本質を見極める力を養っていかなければ、見えない敵には勝てない。

出典：社説　自粛警察の教訓／本質を見極める力を養おう　河北新報2020年6月8日

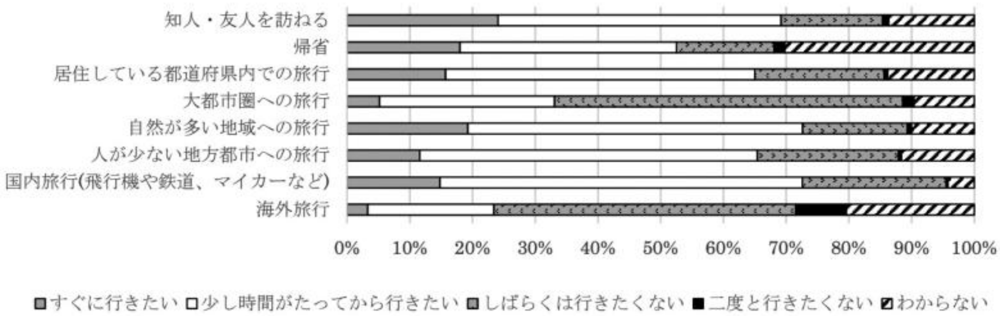
設問１．課題文を 200 字以内で要約しなさい。

○ 関東学院大学　看護学部　看護学科　総合型選抜

図１は、全国に居住する 15〜79 歳の男女 2060 人に、2020 年 4 月 27 日〜29 日に株式会社 JTB がインターネット調査をした結果です。

図１　渡航や外出自粛が緩和された場合、どんな旅行にいつ頃行きたい気分か（単数解答）

(n=2060)



	すぐに行きたい	少し時間がたってから行きたい	しばらくは行きたくない	二度と行きたくない	わからない
知人・友人を訪ねる	24.0%	45.0%	16.1%	1.0%	13.6%
帰省	18.0%	34.5%	15.6%	1.7%	30.2%
居住している都道府県内での旅行	15.7%	49.3%	20.6%	0.6%	13.8%
大都市圏への旅行	5.2%	27.9%	55.5%	1.8%	9.6%
自然が多い地域への旅行	19.3%	53.4%	16.7%	0.7%	10.0%
人が少ない地方都市への旅行	11.6%	53.8%	22.5%	0.5%	11.6%
国内旅行（飛行機や鉄道、マイカーなど）	14.8%	57.8%	22.9%	0.3%	4.2%
海外旅行	3.3%	20.1%	48.1%	8.1%	20.4%

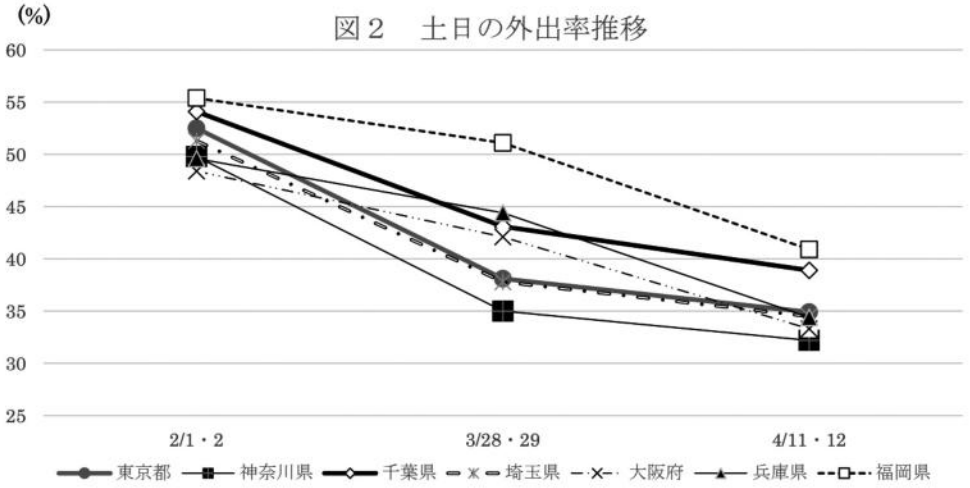
出典）株式会社 JTB　HP

「新型コロナウイルス感染拡大による、暮らしや心の変化および旅行再開に向けての意識調査（2020）」

一部改編（https://press.jtbcorp.jp/jp/2020/05/2020-4.html　最終アクセス 2020 年 9 月 5 日）

○ 関東学院大学　看護学部　看護学科　総合型選抜

図２は、unerry というサイトに掲載された、新型コロナウイルスの影響を、人流ビッグデータ×AI 解析で調査された「土日の外出率推移」です。



	東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県	大阪府	兵庫県	福岡県
2/1, 2/2	52.5%	49.8%	54.1%	51.3%	48.4%	49.6%	55.4%
3/28, 3/29	38.1%	35.0%	43.1%	37.8%	42.1%	44.4%	51.1%
4/11, 4/12	34.9%	32.2%	38.9%	34.5%	33.3%	34.4%	40.9%

出典）unerry【人流ビッグデータ×AI で見る新型コロナウイルスの影響：緊急事態宣言（4/7）による「外出自粛」への影響調査】一部改編
（https://www.unerry.co.jp/news/2020/04/%E3%80%90%E4%BA%BA%E6%B5%81%E3%83%93%E3%83%83%E3%82%B0%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BFxai%E3%81%A7%E8%A6%8B%E3%82%8B%E6%96%B0%E5%9E%8B%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%B9-3/　最終アクセス　2020 年 9 月 5 日）

設問２．図１、２から読み取れることを 200 字以内で説明しなさい。

設問３．人間らしく生きることを支えることについて、具体的にあなたが心がけることを、設問１と２を踏まえて 300 字以内で述べなさい。

○評価者は、真剣に学びと向き合う学生を探しています。

評価者は「プロとしての眼差しを持つ」教員です。ということは、出願書類もその眼差しを持って評価されます。「入学・入社して学びや仕事に真剣に向き合ってくれるのだろうか」「学びを通して世界に貢献できる人なのだろうか」。こうした思いを持ちながら、素敵な学生を探そうとしています。

○皆さんも、真剣に学ぼうと願いましょう。

皆さんも「いままでこれだけ学んできたし、考えてきたし、行動してきた」「このような学びを得たい」という意志を持ち、試験の場で両者がコミュニケーションを交わすわけです。
ですから、入学・入社試験はイニシエーション（通過儀礼）であり、皆さんとしては自分が望む未来像に即した学びや仕事が可能かを確認するアグリーメント（合意・契約）の意味を持ちます。

○ この講座でめざすのは、あなたが「大学・短期大学・専門学校での学びを受けられる・企業で仕事ができるような人物であることを、小論文の答案で表現する力を身につけること」です。

ただ、それができるまでの過程はやはり大変で、独学では難しいものです。そこで、この講座では小論文で必要となる基本的な思考スキルやテクニックをやさしいところから学びます。最初は少ない字数の論述から始め、600字程度の論述がそれほど苦しまずに書くことができることを目標とします。
その際、さまざまな関連書籍に積極的に触れてもらいたいです。小論文ではさまざまなテーマが課され、この講座ではどの学部・学科・企業でも頻出のテーマを選んでいます。また、課題に関連する書籍も紹介します。こうして学びを深め、書籍を通して色々な世界に触れられるようにしています。

○ 小論文を通して、学びに対する情熱を育てましょう。

課題に取り組むなかで、さまざまな領域に足を踏み入れることになります。そのとき、「これは難しい」と思うことが多々あるかと思います。しかし、その世界を知るためには、難しいことであっても、踏み込んで学ぶ勇気がほしいです。課題に取り組んでいくうちにさまざまな言葉を理解したり、概念が分かったりして、少しずつあなたの学びの世界がクリアになっていきます。
その過程で「こんなことが問題なのではないか」「こうしたことを解決するにはどんな学びが必要か」といったことが見えてくるかもしれません。そうした問いに触れながら、これから学ぶことへの情熱を育めるといいですね。

では、講座で一緒に未来をつくりにいきましょう。私も応援しています。

神﨑 史彦

Contents

講	テキストページ数	動画 チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	チャプター5	チャプター6	チャプター7
第1講 小論文とは何か	14P-23P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―	―
第2講 小論文でどういう力が問われるか	24P-35P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―	―
第3講 小論文を紡ぐ手順(1) 読む―考える―書く	36P-45P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―	―
第4講 小論文を紡ぐ手順(2) 設問を「読む」	46P-55P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―	―
第5講 小論文を紡ぐ手順(3) 内容を「考える」	56P-71P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―	―
第6講 小論文を紡ぐ手順(4) 段落構成を「考える」	72P-89P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―	―
第7講 小論文を紡ぐ手順(5) 原稿用紙に「書く」	90P-113P	レクチャー① 原稿用紙の使い方	レクチャー② 表記・表現上の注意	レクチャー③ 字数の増やし方・減らし方	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
第8講 小論文を紡ぐ手順(6) 時間配分を意識する	114P-129P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―	―
第9講 問いの紡ぎ方	130P-145P	レクチャー① 未知が問いを生む	レクチャー② 問題と課題	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―
第10講 意見・根拠の紡ぎ方(1) 知識や理論を当てはめる【演繹】	146P-161P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	―	―

Contents

講	テキストページ数	動画 チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	チャプター5	チャプター6
第11講 意見・根拠の紡ぎ方(2) 事例をもとに理論を導く【帰納】	162P-177P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	ー
第12講 意見・根拠の紡ぎ方(3) 対立する物事を批判する【反論・再反論】	178P-193P	レクチャー① 反論と再反論	レクチャー② 譲歩構文	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内
第13講 意見・根拠の紡ぎ方(4) 対立する物事から新しい見識を見出す【弁証法】	194P-211P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	ー
第14講 展望の構想の方法 知をもとに仮説を立てる【アブダクション・リトロダクション】	212P-229P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	ー
第15講 形式別の基本出題パターン テーマ型・課題文型・データ型	230P-247P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	ー
第16講 課題文型の対処法(1) 要約問題の基本	248P-267P	レクチャー	問題およびヒント①	答案例①	問題およびヒント②	答案例②	レベルアップのための読書案内
第17講 課題文型の対処法(2) 読解問題の基本	268P-287P	レクチャー	問題およびヒント①	答案例①	問題およびヒント②	答案例②	レベルアップのための読書案内
第18講 課題文型の対処法(3) 論述問題の基本	288P-307P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	ー
第19講 データ型の対処法(1) 要約問題の基本	308P-331P	レクチャー	問題およびヒント①	答案例①	問題およびヒント②	答案例②	レベルアップのための読書案内
第20講 データ型の対処法(2) 論述問題の基本	332P-355P	レクチャー	問題およびヒント	答案例①	答案例②	レベルアップのための読書案内	おわりに

巻末資料① 問題文テーマ・キーワード一覧 p358-359

巻末資料② 小論文ルーブリック p360-362

本講座の学習の流れ

第1講から第8講は、小論文の基本的な作法について学ぶパートです。ここまで取り組むと、小論文の答案を作成する手続きが一通り学べます。

第9講から第14講は、小論文でよく用いる思考スキルを学びます。小論文の内容を考えるときに大切な頭の使い方、発想の仕方の基礎を学びます。

第15講から第20講は、出題形式別の対処の仕方を学びます。設問を分類すると、テーマ型（テーマや設問文だけが課されるもの）・課題文型（課題文が課されるもの）・データ型（図表が課されるもの）の3種類が主となります。

高校1年生および2年生が学ぶ際は、最初から最後まで取り組んでみてください。一方、受験期が近い高校3年生であれば、第1講から第8講までは最低限受講し、出題傾向に合わせて第15講から第20講のいずれかに取り組んでみてください。

テキストにはあなたが考えた内容をまとめる欄がありますので、「授業でこんなテクニックを述べていたけれど、私ならどうするだろう」と思考を巡らせて、頭に浮かんだこと、調べたことを色々と書き記してみてください。それを材料にして他者と対話しながら、小論文を形にすると効果的です。

また、巻末に小論文のルーブリックを掲載しています。これをもとに、あなたの小論文がどの段階にあり、次の段階に進むためには何を修正・補正すればよいのかということを、自分の答案を評価するとき、他者と対話するときに活用してください。

予習

POINT !

- この講座は予習不要です。

受講

POINT !

- チャプターは、以下のパートに分けてつくっています。
  レクチャー
  該当する講座で押さえてほしいポイントをレクチャーします。
  問題およびヒント
  取り組んでほしい問題に関するヒントを示します。
  回答例
  回答例をもとに、よいポイント・修正ポイントを解説します。
  レベルアップのための読書案内
  取り組んだ問題に関する書籍を紹介します。
- まずは「レクチャー」を視聴して、内容を理解してください。そして、実際に答案を作成しましょう。「問題およびヒント」の取り扱い方は3つ想定していますので、皆さんの状況に応じてどの方法を取るのかを選んでください。

  ①「問題およびヒント」を視聴した後、答案作成に取り組む
  答案作成に不安がある場合には遠慮なく「問題およびヒント」を視聴してください。ポイントを押さえたり、調べものをして知識を蓄えた上で答案作成してもかまいません。

受講

POINT !

②答案の内容および構成を考えた後、「問題およびヒント」を視聴し、答案作成に取り組む
まずは自分で内容を考えてみましょう。今までの経験をもとに、思考し、知識として形とする練習となります。
その上で「問題およびヒント」の視聴内容をもとにご自身の構想とのズレを知りましょう。
そして、どう融合するのかを思考し、答案をつくることができます。

③答案作成に取り組んだ後、「問題およびヒント」を視聴する
まず、ご自身で問題に対する内容・構成を考え、答案を作成します。
その上で「問題およびヒント」を視聴します。
ご自身が思考してきた流れと、実際に答案を作成した時の流れにどういうズレがあったのかを把握します。
そのズレを補正しながら、次の問題に取り組むことが考えられます。

- 答案が完成したら、自己評価表とルーブリックを用いて自己評価してみてください。なお、講座が進むと評価項目が増える仕組みになっています。また、設問によっては評価項目を絞っています。
- 自己評価をする際に、ルーブリックを参照してください。横軸は評価の観点、縦軸は学習者の到達度を示します。なお、それぞれの評価基準を文章で表現していますが、抽象的に示しています。評価基準の文章と自分の答案を照らし合わせ、まずは「このあたりはできている（できていない）」という評価を自分なりにしてみてください。

受講後／復習

POINT !

- ルーブリック、自己評価表をもとに、次のレベルに到達するにはどういうことをする必要があるのかを考え、答案を修正してください。目安として、すべての項目がB評価以上になるように頑張ってみてください。
- そして「答案例」の解説をもとに、「自分の答案にその内容を取り込むとしたら、どうすればよいのだろうか」などと考えて、自分の答案を修正してみてください。

復習後

POINT !

- 作成した答案や自己評価表、ルーブリックをもとに、学校の先生方などの指導を受けてみてください。その際、どういうところが気になるのか、どのように修正しようとしているのか、その理由はなぜか、ということを共有できるように準備しておきましょう。そのうえで、修正案を考えましょう。
- 出題された設問についての周辺知識を増やしたり、もっと理解を深めるために「レベルアップのための読書案内」で紹介した書籍を読んでみましょう。文章の難易度は色々ありますが、どれもお勧めの本ですので、ぜひ手に入れてみてください。

小論文講座　受講の流れ

ベーシックレベル・ハイ＆スタンダードレベル・トップレベルの講座で取り扱うテーマは重複しません。全ての講座を受講すると、関連する知識を多く得られます。また、ハイ＆スタンダード・トップレベルの講座は「社会科学（法・政治・社会・経済・経営等）」「人文科学（文・人類・教育等）」「自然科学（理・工等）」「医歯薬看護医療系」と分野を分けていますので、志望する学部に合わせて選べるようにしています。

文章記述や小論文の基礎を学びたい場合、受講推奨	ベーシックレベル小論文	小論文と作文はどう違うか、という基本的な事項から、原稿用紙の使い方、段落構成、出題形式別の対処法を学びます。また、持っている知識をもとに思考する方法も習得します。600字程度の小論文を書くことができることを目標にしています。
過去問に取り組む前の入試対策を学びたい場合、志望校のレベルに応じて選択	高3 ハイ&スタンダードレベル 小論文	地方国公立大学およびGMARCH・関関同立レベルの大学入試の過去問をもとに、社会科学・人文科学・自然科学・医歯薬看護医療系の頻出テーマの演習および知識習得を目指します。800字程度の小論文を書くことができることを目標にしています。
	高3 トップレベル 小論文	旧帝大および早慶上智レベルの大学入試の過去問をもとに、社会科学・人文科学・自然科学・医歯薬看護医療系の頻出テーマの演習および知識習得を目指します。1200字程度の小論文を書くことができることを目標にしています。

第1講

小論文とは何か

チャプター1

レクチャー

小論文の「論」は（　　　　　　　　　　）という意味である。
（　　　　　　　　　　）を説明する（　　　　　　　　　　）規模な文章だから小論文という。
小論文では（　　　　　　　　　　）があるから、
それに答えたものを（　　　　　　　　　　）と呼ぶことにする。
意見の（　　　　　　　　　　）さや（　　　　　　　　　　）性を示したものを（　　　　　　　　　　）という。
（　　　　　　　　　　）と（　　　　　　　　　　）は過去から現在にかけて得られた知識をもとにつくられたもの。
これらをもとに今後どうすると善き未来になるのかを
（　　　　　　　　　　）として示すとよい。

チャプター2

問題およびヒント

あなたの高校生活で印象に残っていることはどのようなものでしょうか。「設問への答え（意見）」「なぜ印象に残っているのか（根拠）」「その経験を今後どう生かしたいのか（展望）」の順に200字以内で述べてください。

（川村学園女子大学　教育学部　児童教育学科　推薦　2018　改題）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

200

（　　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　高校生活で印象に残っているのは、中国語の学習だ。選択科目に外国語の履修があり、学校で英語以外の語学を学ぶことができることが新鮮だった。アルバイト先にも中国の方が何人かいて、学んだことを話し、発音を正してもらうなどアウトプットの機会が多くあったことで学習すること自体がとても楽しかった。言語を学ぶことは異文化を知ることにもつながり、自分の持つ世界が広がるのを感じたので、学習を続けていきたいと思う。

（199字）

自己
評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　私が高校生活の中で印象に残っていることは、高校から始めた吹奏楽部でのクラリネット演奏である。部員が少ないため個人練習に終始しがちだったが、同じ木管パートの部員に声を掛け共に練習しアドバイスし合う環境作りをした。3年時の地区大会ではソロパートをもらい、自信を持って演奏できた。私はこれから新しい挑戦をする際この経験を礎としたい。困難に対して方策を考え実行することで、自他共に成長することが可能である。

（200字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第2講

小論文で どういう力が問われるか

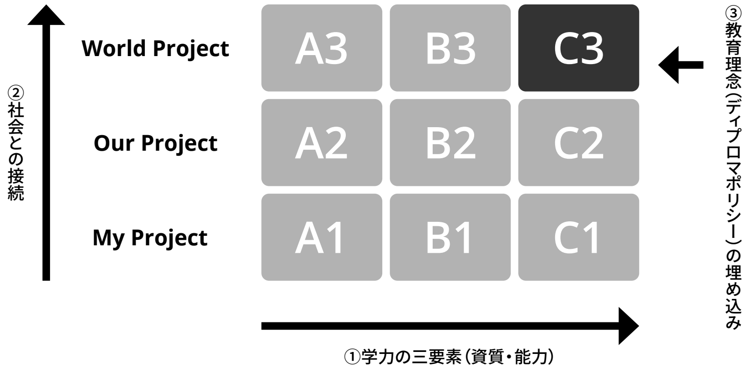
チャプター1

レクチャー

ポイント

　小論文でしか評価できない領域は、学力の三要素のうち
「(　　　　　　　　　　)に向かう力・人間性等」である。この学力は
(　　　　　　　　　　)志向であり、今後どうすると善き
(　　　　　　　　　　)になるのかを考える力だと捉えてみるとよい。
　もちろん「(　　　　　　　　　　)及び技能」も「(　　　　　　　　　　)力・判断力・(　　　　　　　　　　)力」との循環も大事になる。
　この講座の小論文では学力の三要素を満たすために
(　　　　　　　　　　)・(　　　　　　　　　　)・(　　　　　　　　　　)
を答案の中に表現するのが戦略である。

○ 思考コード



参照：神崎史彦『プレゼンテーション・グループディスカッションのルールブック』(KADOKAWA)

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

あなたはこれまでにさまざまな人々と関わりながら、自分の価値観をつくりあげてきたかと思います。今までの人生を振り返り、自分の生き方や考え方に影響を与えた人を挙げ、どういう影響を受けたのか、なぜその影響がこれからの人生にとって重要だといえるのか、その影響を受けた自分自身を今後の人生にどう生かしたいのか、の順に200字以内で述べてください。

（オリジナル）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

200

（　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　私は自分の人生に影響を与えた人物として、父を挙げる。なぜなら、今の自分は父の収入によって生活しているからだ。人格の形成において、その経済的な状況は大きな影響を与える。今の自分は経済的に恵まれていると思う。今の自分の人格はこのような環境にいたからこそ出来上がったのだという意味で父からの影響は重要であるといえる。これからの人生において私は自分の子どもが豊かな生活を送れるような環境づくりを行いたい。

（198字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　私が最も影響を受けたのは、中学の時の吹奏楽部の顧問だ。相手のことを考えて行動することの大切さを知った。大会前に楽器を演奏せず、校内の清掃をした時期があった。無駄なことだと思ったが、皆で協力しなければ終わらない。吹奏楽は1人が目立つのではなく、相手のことを考えて吹かなければ成り立たず、全員で協力することとつながっていた。自分だけではなく、相手のことも考えて行動することに生かしていきたい。

（194字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第3講

小論文を紡ぐ手順(1)
読むー考えるー書く

チャプター1

レクチャー

　小論文の問題に取り組むときは
「①(　　　　　　　　　　)」「②(　　　　　　　　　　)」
「③(　　　　　　　　　　)」の順で進めよう。
　①は「(　　　　　　　　　　)を読む」。(　　　　　　　　　　)には、
(　　　　　　　　　　)文や(　　　　　　　　　　)も含まれる。
　②は「(　　　　　　　　　　)と(　　　　　　　　　　)を考える」。
　③は「(　　　　　　　　　　)を調整しながら書く」。

チャプター2

問題およびヒント

あなたの家庭の食文化について、200字以内で述べてください。
(酪農学園大学　農食環境学群　循環農学類　推薦　2018)

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

200

（　　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　私の家族は、食事の時に「いただきます」「ごちそうさま」という挨拶をすることを大事にしている。これらの言葉には料理を作ってくれた人や、食材を育ててくれた人たちへの感謝の気持ちが込められているのだと教えられた。また、マナーでもありコミュニケーションでもあるため、できる限り一人で食事を取らないようにしてきた。食事は、ただ食べるだけでなく、挨拶を含めて行うことで食文化として意味を持つものになると思う。

（199字）

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　私の家の食文化は韓国料理だ。母が韓国好きで、頻繁に韓国料理が食卓に並ぶからだ。韓国料理は辛いものが多いが、私は薬菓という甘いお菓子が好きだ。韓国には実は甘いお菓子が多く、母はそれをよく取り寄せてくれる。今は新型コロナウイルスで韓国に行けないが、いつか実際に行って韓国料理を食べてみたい。他にも、夕食ではキムチを必ず食べ、食器も韓国本場のものを使用しているため、私の家族の食文化は韓国料理だと思う。

（198字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第4講

小論文を紡ぐ手順(2)

設問を「読む」

チャプター1

レクチャー

ポイント

設問やテーマが示されている文章を(　　　　　　　　)と呼ぶ。
設問を読むときは、設問文の中に(　　　　　　　　)文が示されているか否かで意見の示し方の手順が変わる。
設問に(　　　　　　　　)が示されている場合は、その回答が(　　　　　　　　)となる。
設問に(　　　　　　　　)が示されていない場合は、設問文中のテーマをもとに(　　　　　　　　)文をつくった上で、回答を(　　　　　　　　)として示す必要がある。

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

勉強が「役に立つ」とはどういうことか、あなたの考えを200字以内で述べてください。

(オリジナル)

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

200

（　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　勉強が「役に立つ」とは、将来、問題に向き合う時、できるだけ困らないということだと考える。例えば、美術館で絵の鑑賞をすると個人の直感で良いか悪いか、好きか嫌いかを判断することが多い。しかし、画家や、絵が制作された時代や文化などを知ることで、見え方も変わってくる。勉強をすることで、知っていることが増えて、色々なことに興味を持つことができるようになるため、これからの人生に役立つだろうと考える。

（196字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　国語を勉強すれば漢字が分かるようになり、ふとした場面にどのような言葉を述べればよいのかが分かる。数学を勉強すれば日々の暮らしで使う計算ができるし、数学の長文問題を解くことで、思考力が身につく。このように知識面で勉強は役に立つ。精神面でも勉強をしている時の集中力は、将来就職する時に役に立つ。また、人と会話をする時にも色々な分野の知識があれば、誰とどのような会話でもできて円滑に人間関係を築けると思う。

（200字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S　A　B　C　F
意見（主張）	設問と意見の関係	S　A　B　C　F
	独自性・独創性・発展性	S　A　B　C　F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S　A　B　C　F
	重要性・問題性	S　A　B　C　F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第5講

小論文を紡ぐ手順（3）

内容を「考える」

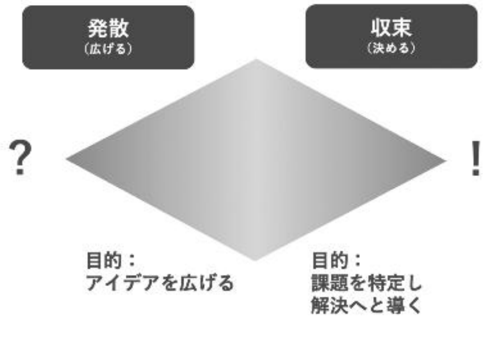
チャプター1

レクチャー

ポイント

　内容を考えるときは、頭の中に思い浮かんだことをまずは
（　　　　　　　　　　　）することから始めよう。頭の中だけで内容をつくりあげようとしない。
　設問に対する（　　　　　　　　　　　）、
テーマに関する（　　　　　　　　　　　）、（　　　　　　　　　　　）など、
どこから紡ぎ出すかは決めなくてもよい。
　（　　　　　　　　　　　）して吐き出したものから、可能性として高いものを選別したり、複数のものをまとめたりして、（　　　　　　　　　　　）させる。
　意見や根拠をもとに、今後どうすると善き未来になるのか、
（　　　　　　　　　　　）を記そう。
　これらを、話の筋道を立てて、整理しながら論じよう。つまり、
（　　　　　　　　　　　）性を意識して記そう。

○ デザイン思考の基本



生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

人類の生活を豊かにした発明や開発を挙げ、その理由とともに400字以内で述べてください。

（東京大学　理科二類　帰国生入試　2021 改編）

解答案をつくってみよう

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　私は人類の生活を豊かにした発明として、活版印刷が挙げられると考える。なぜなら、活版印刷が発明されたことにより、離れたところにいる多数の人に向けて同時に情報を伝達することが可能になったからだ。文字による情報を大々的に伝えることが可能になったことで、それまで自分が知ろうとしなかったがゆえに知らなかった世界を受動的に知ることができるようになったということである。それは、その人の世界が広がることを意味する。多くの情報を入手できるからこそ、さまざまなことを考えることができるのだ。

　今の私達の日常は、本当に情報に溢れていると思う。インターネットを利用すれば自分の知りたいことをすぐに知ることができ、欲しい情報が自分のところに届かないという状況を想像することができない。このように豊かな情報を伝えることの礎となった活版印刷というものは偉大な発明であると思う。

(378字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　人類の生活を豊かにした発明や開発とは、ワクチンである。ワクチン接種の普及により1980年に天然痘は根絶されている。他にも様々な疾患がワクチンのおかげでその数を減らしている。私自身も多くの予防接種を受けており、その回数と種類の多さには驚かされた。しかしその効果とは逆に、人体にとって好ましくない副反応を発現させることがある。多くは発熱や接種部位の腫れに止まるが、まれに重篤な副反応が起こる可能性は否定できない。確かに極わずかであっても、その可能性を全く恐れず接種することは難しいだろう。新型コロナウイルスのワクチンも同様である。新しい技術に対し、様々なデマが飛び交っていたことは記憶に新しい。一部の報道や意見に左右されず、海外も含めた広い視野でワクチンのメリット、デメリットを考えていきたい。ワクチンが重要であることは明らかであるので、人類の生活を豊かにするためにワクチンを上手に利用していきたい。

(398字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第6講

小論文を紡ぐ手順(4)
段落構成を「考える」

チャプター1

レクチャー

ポイント

段落構成のパターンはいくつかあるが、
基本は「①(　　　　　　　　　　)」「②(　　　　　　　　　　)」
「③(　　　　　　　　　　)」でよい。

ひと段落あたり(　　　　　　　　　　)字から(　　　　　　　　　　)字程度を目安にして、段落数を決定する。

段落数に応じて「①(　　　　　　　　　　)」「②(　　　　　　　　　　)」
「③(　　　　　　　　　　)」を配置する。

字数が少ない論述の場合は段落を無理に分けなくてもよい。
(　　　　　　　　　　)に指示があるので従うこと。

生徒メモ欄

教員記入欄

○ 段落構成の例

	400字	800字	1600字
① 設問に対する意見	50字程度	150字程度	200字程度
② 意見を支える論拠	250字程度	150字程度（理由）	200字程度（理由①）
			200字程度（理由②）
		250字程度（背景→重要性）	250字程度（背景）
			250字程度（重要性）
③ 改善策、展望、提案	100字程度	250字程度	250字程度（展望）
			250字程度（具体的な提案）

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

ソーシャルメディアが人々の生活や社会に及ぼす影響について、あなたの考えを400字以内で述べてください。
（亀田医療大学　看護学部　看護学科　推薦　2017　改題）

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

（　　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己
評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　私達の生活において身近な存在となっているスマートフォンは、正にソーシャルメディアであるといえる。様々な情報が溢れていて、容易に情報を得られるが、それらには規制がないため、何が正しくて何が間違っているのかの取捨選択が重要な鍵となってくる。

　例えば、ある症状が気になり疾病の疑いを感じた時、検索して情報を得るだろう。そこには情報が最新か、正確かを見分ける能力が必要となってくる。その際に、果たしてそこまでの能力を持ち合わせているだろうかということが問題になってくる。判断できなければ、間違った方法を試みることもあり得るということだ。

　よって医療や健康の適切な情報を提供し、適切に活用されるように働きかけることが必要となる。病気になってからの事だけでなく、その前段階の病気の予防、健康維持、増進に働きかけることができるのも、またソーシャルメディアのなせることだと考える。

(397字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　ソーシャルメディアは不特定多数への情報発信を可能にした。スマートフォンでの利用が多いためか、情報伝播のスピードが一層増してきたといえる。ソーシャルメディア独自の問題として、内容の正確さや表現を確認せずに発信する誤情報の「拡散」や、意見や行動を批判する「炎上」が起きている。また、発信した情報や意見への反応を待つことでスマートフォンを手放せない、SNS依存につながる可能性もある。知人との連絡でも応答の早さが過剰に求められるという問題もある。素早く反応する必要と、反応が遅いことに苛立ちを覚える、双方向の強迫観念だ。いずれもスピード感の問題である。

　気軽な情報発信や意見交換により、伝播のスピードが増していくことに危機感を覚える。情報や意見の内容ではなく、交換すること自体に振り回されては本末転倒だ。内容の正確さや表現方法、そして他者の意見を尊重する時間を持つことが重要になると考える。

(398字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第7講

小論文を紡ぐ手順（5）

原稿用紙に「書く」

チャプター1

レクチャー①　原稿用紙の使い方

○ 原稿用紙の使い方NG例

　小論文の書式には、原稿用紙のマス目が用いられることがあります。原稿用紙の使い方を誤ると、減点対象になったり、悪印象を与えたりする恐れがあります。小論文を書く前には、必ず原稿用紙の使用に関するルールを確認しましょう。些細なミスは、できる限り避けたいものです。

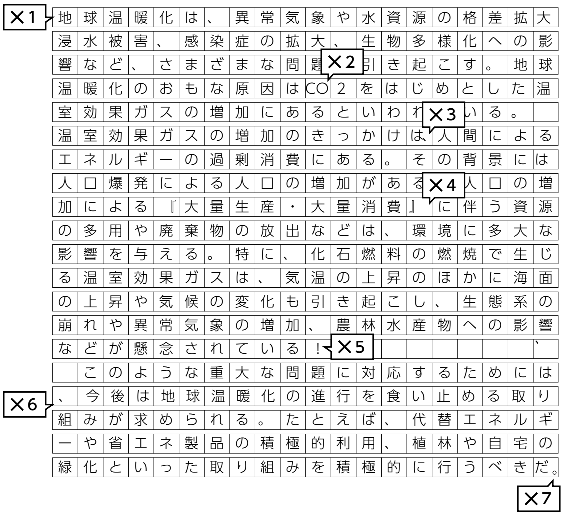
×3
句読点、小文字
句読点や小文字（っ、ゃなど）、カギかっこも1マス分使います。

×4
二重カギかっこ
二重カギかっこ（『　』）は書籍の題名を記す場合や、カギかっこ内でかっこを使用する場合のみ使います。通常はカギかっこ（「　」）を用います。

×5
記号、クォーテーションマーク
記号（!や?）やクォーテーションマーク（“ ”）の使用は避けましょう。

×6
行の頭
句読点・小文字・とじかっこが行の頭にくる場合は、直前行の最後の1マスに他の文字と共に記入します。

×〈悪い例〉



×7
句点
最終行の最後のマス目に句点を同居させると、字数オーバーになる恐れがあります。最終行に限っては句点も1字と数えましょう。

×1
書き始め
書き始めや段落を分ける場合には、最初の1マス目を空けます。ただし、1マス目から書くように指示されている場合は、その指示に従いましょう。

×2
数字、アルファベット
横書きの原稿用紙で数字を用いる際は、漢数字とアラビア数字（1、2など）のどちらも使用できます。アルファベットや単位記号（kmなど）も使えます。アラビア数字を書くときは1ケタならば1マス1字、2ケタなら1マス2字で記します。アルファベットは大文字ならば1マス1字、小文字ならば1マス2字にします。

【注意】縦書きの場合、数字は漢数字（一、二など）のみを用い、1字に1マス使用します。アラビア数字は使いません。単位記号やアルファベットは横倒しに書きますが、略称や略号などは縦書きのまま書いてもかまいません。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

レクチャー②　表記・表現上の注意

小論文を書く際には、表現や表記に気を付けなければなりません。表現・表記への気配りは、読み手の無用な混乱を防ぎます。また、あなたの意図を正しく伝えることにもつながります。一方で、表現や表記上の誤りは減点の対象となる恐れもあります。正しい表現・表記を心掛けましょう。

文章の長さ　〇1

× 一般的な日本人像としては「集団主義的」「恥の文化」「道徳意識が高い」などがあるが、こうした見方で日本人という集団を捉えることは、日本人の国民性や日本文化の特性を理解し、行動原理を解明する足掛かりになる一方で、個人の特性を捉えるには不十分であるという指摘もあり、一般的な日本人像の多くは日本人の多様性を考慮したものではなく、必ずしもすべての個人に当てはまらない。

〇 一般的な日本人像としては「集団主義的」「恥の文化」「道徳意識が高い」などがある。こうした見方で日本人という集団を捉えることは、日本人の国民性や日本文化の特性を理解し、行動原理を解明する足掛かりになる。一方で、個人の特性を捉えるには不十分であるという指摘もある。一般的な日本人像の多くは日本人の多様性を考慮したものではなく、必ずしもすべての個人に当てはまらない。

呼応表現　〇2

× 今まで経験してこなかった役割を担ってみたり、新しい経験や体験をしてみることが欠かせない。
〇 今まで経験してこなかった役割を担ってみたり、新しい経験や体験をしてみたりすることが欠かせない。

× なぜなら、すべて自分の思い通りにできるわけはなく、ときには自由な振る舞いが他者の自由を妨げることもある。
〇 なぜなら、すべて自分の思い通りにできるわけはなく、ときには自由な振る舞いが他者の自由を妨げることもあるからだ。

誤りやすい漢字・送りがな・かな表記　〇3

×忙がしい → 〇忙しい　×短かい → 〇短い　×決っして → 〇決して
×価値感 → 〇価値観　×少しづつ → 〇少しずつ　×コミニュケーション → 〇コミュニケーション

句読点　〇4

× 心の豊かさとは、個人が、精神的に、満たされていて、余裕が、あるさまを指す。
〇 心の豊かさとは、個人が精神的に満たされていて余裕があるさまを指す。

文末表現　〇5

× 自らの正義に対して常に疑問を持つとともに、他者が持つイデオロギーや正義を一度受けとめることが必要となります。ときには、集団内の利益をもたらすのであれば変更することも考えなければならないだろう。

× 自らの正義に対して常に疑問を持つとともに、他者が持つイデオロギーや正義を一度受けとめることが必要となります。ときには、集団内の利益をもたらすのであれば変更することも考えなければならないでしょう。

〇 自らの正義に対して常に疑問を持つとともに、他者が持つイデオロギーや正義を一度受けとめることが必要となる。ときには、集団内の利益をもたらすのであれば変更することも考えなければならないだろう。

会話調の表現・略語　〇6

×そんな、こんな → 〇そのような、このような　×自分はこう思う → 〇私はこう思う。
×部活 → 〇部活動　×携帯 → 〇携帯電話

表現技巧・無意味なカタカナ書き　〇7

× 重要なのは、時代や社会に合った教養を身につける機会を積極的に生み出すこと。
〇 時代や社会に合った教養を身につける機会を積極的に生み出すことが重要だ。
× 大切なのではないか。人文・社会・自然の諸科学を分け隔てなく学び、それらを時代に合わせて活かしていくことが。
〇 人文・社会・自然の諸科学を分け隔てなく学び、それらを時代に合わせて活かしていくことが大切なのではないか。
× 「これからどう生きるべきか」を考えることがホントに大切である。
〇 「これからどう生きるべきか」を考えることが本当に大切である。

〇1
文章は短く区切る
文章が長くなると、主語と述語、修飾語と被修飾語との関係が曖昧になり、ねじれ表現（「重要なことは、気持ちがなければならない。」など、主語と述語がねじれている表現）を生む原因となります。

〇2
呼応表現は正しく使用
たとえば「なぜなら」と書き始めたら、「〜からだ。」などといった表現を用います。「〜たり、〜たり」は、特に誤りが多い呼応表現です。また、呼応関係は一文中のみ働きますので、文をまたいで使用することはできません。

〇3
漢字表記などの誤り
漢字、送りがな、かな表現の誤りに気を付けましょう。また、漢字のあるものは原則漢字表記です。思い出せない部分のみ平仮名を使用した、漢字かな交じりの表現も適切ではありません。外来語の表記ミスにも注意しましょう。

〇4
句読点の注意
句点（。）は文の終わりに打ちます。読点（、）は適切にうちますが、打ち過ぎたり少な過ぎたりしないようにしましょう。

〇5
文体を統一する
小論文では敬体（です・ます調）を用いず、常体（だ・である調）で文体を統一します。

〇7
意図を正確に伝える
体言止め、倒置法、省略などの表現技巧を用いると、解釈を読み手にゆだねることになります。書き手の意図を正確に伝えることを目的とする小論文での使用は避けましょう。また、無意味なカタカナ書きの使用も、同様の理由で避けましょう。

〇6
会話調の表現・略語は用いない
「なので」「でも」「ちゃんと」「…じゃない」「お父さん」「僕」などは、会話調の表現です。それぞれ「このため」「しかし」「きちんと」「…ではない」「父」「私」などと書き換えましょう。ら抜き言葉（「見れる」「食べれる」「来れる」など）も使用しません。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

レクチャー③　字数の増やし方・減らし方

ポイント

（　　　　　　　　　　）用紙の使い方に注意して記そう。
（　　　　　　　　　　）用紙ではなく、（　　　　　　　　　　）線の場合もある。
（　　　　　　　　　　）・（　　　　　　　　　　）への気配りが大切である。
（　　　　　　　　　　）調整ができるようになろう。
これらの誤りは（　　　　　　　　　　）点の対象となる恐れがあるので注意したい。

生徒メモ欄

教員記入欄

○ 字数の増やし方

●曖昧な表現、抽象的な表現を詳細に示す（解像度を上げる）

（修正前）　貧困問題は、資本主義が引き起こすものである。

↓

（修正後1）　貧困問題は、経済活動の自由を重視することによって引き起こされるものである。

（修正後2）　貧困問題は、経済活動の自由を重視することによって引き起こされるものである。これは何人もビジネスの契機を得られる一方で、成功することも失敗することも許されることでもあり、後者に貧困が訪れるということを意味する。

（修正後3）　貧困問題は、経済活動の自由を重視することによって引き起こされるものである。これは何人もビジネスの契機を得られる一方で、成功することも失敗することも許されることでもあり、後者に貧困が訪れるということを意味する。その背景には貯蓄と利子を認めていること、仮にそれらを認めた場合に再配分の機能が弱くなる経済の仕組みが存在することが考えられる。循環する経済の理想は貯蓄や利子をなくして売買することであるが、貯蓄や利子を認めると資本家は貯蓄をもとに利子や利ざやを得ようとし、さらに資本が蓄えられることになる。実質的にその行為は労働者からの搾取とみなされ、貧富の差が生じることになる。そして、蓄積した資本を税制によって再配分する仕組みがあれば循環するが、それが機能不全に陥る状況となれば、事態は深刻になる。

生徒メモ欄

教員記入欄

○ 字数の減らし方

●重複表現や修飾語句の削減、熟語の使用、遠回しの表現(無駄のない表現にする)

(修正前)　私たちにとってパフォーマンスが高いチームの特徴としてまず考えられるのは、誰かが指示されることがなかったとしてもメンバー一人一人が考えて動くことができることである。このようなチームをつくるにはどのような心構えが大事になるのだろうか。

↓

(修正後1)　パフォーマンスが高いチームの特徴の一つは、指示なくメンバー一人一人が考えて動くことである。このようなチームづくりに必要な心構えは何か。

(修正後2)　パフォーマンスが高いチームの特徴の一つは、自律性である。このようなチームづくりに必要な心構えは何か。

(修正後3)　パフォーマンスが高いチームの特徴である「高い自律性」の養成に必要な心構えは何か。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

問題およびヒント

問題を見てみよう

日本における選挙権の年齢制限が18歳に引き下げられたことについて、あなたの考えを400字以内で述べてください。
（オリジナル）

解答案をつくってみよう

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

答案例①

　私は、年齢制限が18歳に引き下げられることに賛成であり、選挙にとって意味のあることだと思う。なぜなら、票数の増加と若者の票を増やすことが現在の選挙には求められているからだ。現在、投票率は下がり、その上高齢者の票の割合が増えている状態では選挙で国民全体の意見を反映しきれていない。

　一方で、18歳では社会経験がない人が多く、正しい判断で投票できないのではないかという意見もある。しかし、年齢引き下げにより高校の授業でも選挙教育を行うようになり、SNSなどを使用するなど、若者に向けた選挙活動の方法も多様化してきている。そのため、18歳でもしっかりと政治に対する考えを持つことができる環境が整いつつあるように思う。

　若者の投票数が増えることで、政治家が若者に向けた政策を考えることにもつながり、若者は選挙を通して政治に興味を持つきっかけが増え、意識も高まるはずだ。

(395字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター6

答案例②

　選挙権が１８歳に引き下げられたことに私は反対である。一般的に１８歳は高校３年生だ。同じ学年で投票できる人とできない人に分かれるのはおかしい。選挙権が与えられたことで、初めは物珍しさに投票に行くかもしれないが、誰に投票するのか決められるのだろうか。私たちの年代は周りに流されやすい。学校という狭い場所でしか物事を見る機会がないため、友達がこの候補者にすると言えばその候補者にしてしまうだろうし、元芸能人など有名人が立候補すれば、政策も見ずにその候補者に投票してしまうと思う。しかし、それで良いのだろうかとも思う。高校生のうちはもっと自立するための練習が必要だ。

　今の日本の投票率はとても低い。元々選挙権があった大人が選挙に行かないのに、なぜ私たちが投票して政治に参加しなければいけないのかが疑問である。まずは、大人がしっかり政策を見極めて選挙に行き、私たちに手本を見せてほしいと思う。

(392字)

生徒メモ欄

教員記入欄

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター7

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第8講

小論文を紡ぐ手順(6)
時間配分を意識する

チャプター1

レクチャー

ポイント

　試験には（　　　　　　　　　　）時間がある。
　論述する字数によって、おおよそ制限時間が推測できる。例えば800字の小論文だと（　　　　　　　　　　）分程度となることが一般的である。
　「①（　　　　　　　　　）」および「②（　　　　　　　　　）」時間を十分に取ろう。
　「③（　　　　　　　　　）」時間をできる限り短縮するために、（　　　　　　　　　　）を行おう。

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

　いま古典を学ぶ意味は何か、あなたの考えを400字以内で述べてください。
（獨協大学　国際教養学部　言語文化学科　卒業生子女入試　2018　改題）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100
200
300
400

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　私は、古典は興味のある人が学べば良いのではないかと考える。毎日の生活でも、学んだ古典を生かす場面は特に無く、試験や受験のためだけに勉強しているだけという気がするからだ。同じ日本語でも、今の言葉とも違うので会話で使うこともなく、なぜ勉強しなくてはいけないのか疑問を持っていた。例えば、数学を勉強しても生活で使うことが無いと言うと、必ず、こんな事に役に立ちますという意見が出てくるが、古典についてはそういった役立ち方も特に無いように思う。

　源氏物語や徒然草など、古典文学を読むためには必要な知識であるかもしれないが、既に今の言葉に言い換えられていて、文法や言葉の意味を改めて学ばなければ読めないということも無い。個人的に古典に興味を持ち、勉強したいと思う人が大学などでそういった勉強ができる学部に進学して勉強をして、学校で古典を学ぶ時間を他の教科の勉強に充てるようにしたら良いと思う。

(393字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

項目	評価観点	評価
設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

今日、頻繁に古典に触れる機会は少ないだろう。それでも私は今も古典を学ぶ意味は、あると考える。その理由は、古典を知ることで、過去に起きた出来事や、現在まで続いている歴史を読み解くことができるからだ。

私は中学校の修学旅行で京都、奈良へ行った。事前に自分で京都の歴史を調べ、京都が長年歴史の中心地であったことに、あらためて驚いた。中でも社寺などの建築物は現代のような技術が無いにもかかわらず、朽ちることなく今も残っている。また、「ここで本能寺の変があった」など、知っている知識が繋がっていくところが楽しいと感じた。

しかし、古典に触れる機会が少ないため、自らお寺に行き、話を聞く高校生は少ないだろう。よって気楽に古典に触れられる機会や、学ぶ場所があると良いと考える。英語の単語を覚えるように、古典で使用されている言葉を覚えていき、謎解き感覚で解読していく、といった楽しい機会となるものを考えたい。

(400字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第9講

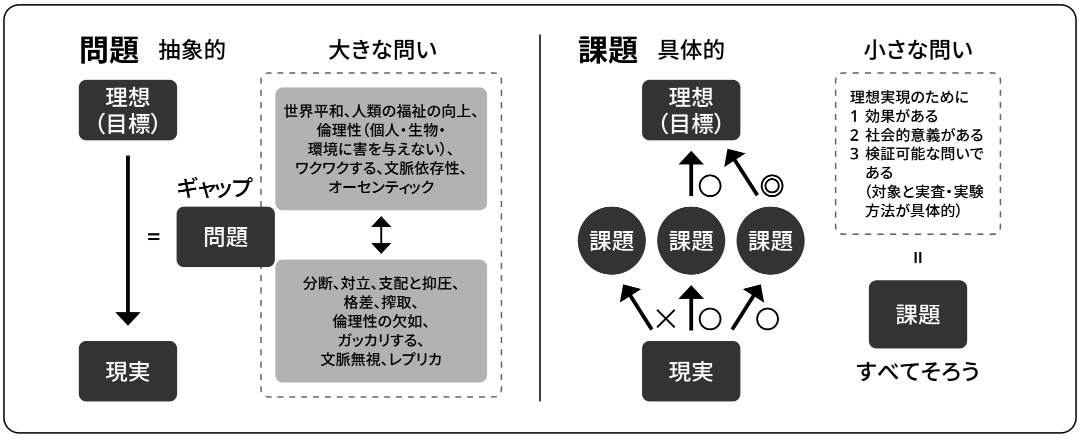
問いの紡ぎ方

チャプター1 レクチャー①　未知が問いを生む
チャプター2 レクチャー②　問題と課題

ポイント

　キーワードをもとに(　　　　　　　　　　)をつくろう。
　キーワードをきっかけに(　　　　　　　　　　)と(　　　　　　　　　　)のギャップを捉えてみよう。これを「(　　　　　　　　　　)問い」「問題」と呼ぶことにする。
　「(　　　　　　　　　　)問い」「問題」が起こる要因がさまざまある。
　それらを「(　　　　　　　　　　)問い」「課題」と呼ぶことにする。
　キーワードの世界の中にはどういう「(　　　　　　　　　　)」が潜んでおり、そこにはどういう「(　　　　　　　　　　)」が紐づいているのか、どの「(　　　　　　　　　　)」の解決が効果的なのか、その先にはどういう(　　　　　　　　　　)的な世界が待っているのか、ということを考え抜こう。

○ 大きな問いと小さな問い



出典：神﨑史彦『プレゼンテーション・グループディスカッションのルールブック』(KADOKAWA)

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

問題およびヒント

問題を見てみよう

　スポーツにおける勝敗について、あなたの考えを400字以内で述べてください。

（天理大学　体育学部　体育学科　推薦　2017　改題）

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例①

　スポーツとは、勝敗が存在するからこそ楽しめるものだ。しかし、オリンピックに出る選手たちを見ていると本当に勝敗は大切なのだろうかと疑問に思うことがある。勝つためには相当な努力が必要だ。自分を追い込み、時には怪我までしてしまう。怪我をすれば試合にも出られなくなるため、試合はせずに敗れてしまうことになる。

　オリンピックは、選手にとって目指すべき最高の場所だと思う。出場できるだけで十分素晴らしいことだが、勝敗がついて回ることで負けた選手は悪となってしまう。応援している選手が勝つことは嬉しい。しかし、試合に敗れメダルに手が届かない選手の謝罪の言葉には違和感がある。勝っても負けても私たちは選手のパフォーマンスに感動して、勇気をもらうこともあるのだから、謝罪の必要はないと思う。勝敗は大切だが、勝つために頑張ってきたということが、何よりも大切なのではないだろうかと思う。

(392字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

答案例②

　スポーツには勝敗が必要だと思う。私自身少年野球や部活動でスポーツを続けてきたが、目指すものは常に勝利だった。日々の練習も試合に勝利するためにしていたように思う。

　試合で勝ち進んでいくと練習にも身が入るし、さらにそのスポーツが好きになっていく。負けた場合は悔しくて涙を流す時もあったが、次はどのようにしたら勝てるのかを必死に考えて練習を続けた経験がある。勝つことも負けることも次の試合へのモチベーションを上げることに繋がっていると思うので勝敗は必要だと思う。

　次に、スポーツを観戦する立場から考えてみる。スポーツにもし勝敗がなかったらオリンピックやワールドカップはここまで盛り上がるのだろうか。日本が勝利したり、金メダルを取ったり、またプロ野球で好きなチームが勝利するのを見ると嬉しく、負けると悔しい。スポーツに勝敗があるから競技する側でも観戦する側でも魅力を感じるのだと思う。

(400字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター6

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第10講

意見・根拠の紡ぎ方（1）

知識や理論を当てはめる【演繹】

チャプター1

レクチャー

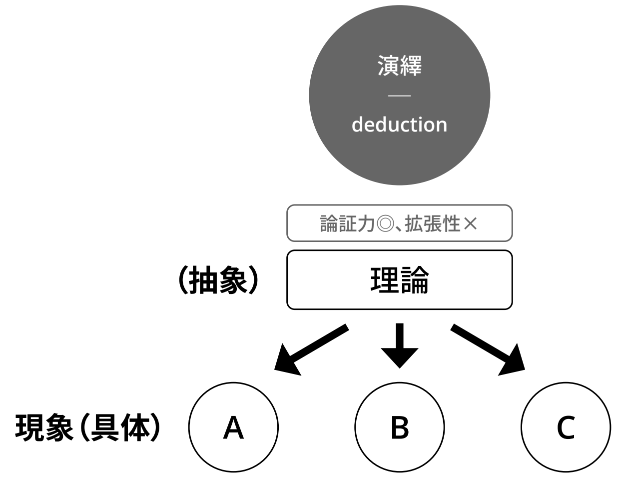
ポイント

（　　　　　　　　　　）とは、一般的・普遍的な事実やルールをもとに、結論を導き出す方法のことである。

事実やルールに（　　　　　　　　　　）が混じると、論理が破綻するので注意しよう。

（　　　　　　　　　　）を用いるには、さまざまな文献に触れたり、各教科で学んだり、適宜インターネットで検索しながら（　　　　　　　　　　）を蓄えるとよい。

◯ 演繹（デダクション）



生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

　人工知能の発達と共に、人間の関与を必要とする作業は大幅に減少すると言われています。そうした中で、働き方はどのように変わるでしょうか。あなたの考えを400字以内で述べてください。

（大同大学　工学部　推薦　2018　改題）

解答案をつくってみよう

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
５段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　ＡＩを搭載した機械が一般的に使われるようになり、人の仕事は減ると考える。単純業務は、機械化で素早い対処ができるようになり人数が減り、失業する人も出るだろう。実際に、セルフレジが導入されたことで、その部分だけでも働く人の数が以前より減っていることがわかる。しかし、保育士や幼稚園教諭など、小さな子どものお世話をする仕事の機械化は難しい。学校の先生なども、一部の授業の映像化はできても、生徒一人一人に対しての指導は人と人との関わりが大切ということを考えても機械化はできないだろう。

　よって、機械に任せられる業務は機械が行い、人は人にしかできない仕事を担当することになるだろう。そのため、今よりも仕事量が減り、働きやすさも変わるように思う。そのことから、休暇を増やす、残業を減らすことなどが可能となり、現在の厳しい労働状況が改善され、今よりも余裕を持った働き方ができるようになると考えられる。

(395字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　人工知能は、少子高齢化が進むこれからの日本に無くてはならないものである。人工知能の活用により、私たちの働き方も大きく変わるだろう。具体的には、きつい・汚い・危険と言われる「３Ｋ」の仕事内容が変化していくと考えられる。例えば看護・介護職の現場だ。２４時間体制で見回るなど身体的負担が多く、時には排泄の手伝いや処理をするなど精神的にも過酷な仕事であるが、見守りシステムや介護ロボットの導入により、現場職員の負担は軽くなるだろう。一方で、入所者とのコミュニケーションの時間や就労者の自己研鑽の時間を増やすことにより、提供するサービスの質の向上にも繋がると考えられる。

　これからはより人工知能を発達させるべきだ。人工知能は産業の生産性を向上させ、技術革新を加速させ、私たちの社会に革命を起こすだろう。持続可能でよりよい世界を目指すことにより、次世代に豊かな世界を引き継げることを、私は願っている。

(394字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第11講

意見・根拠の紡ぎ方（2）
事例をもとに理論を導く
【帰納】

チャプター1

レクチャー

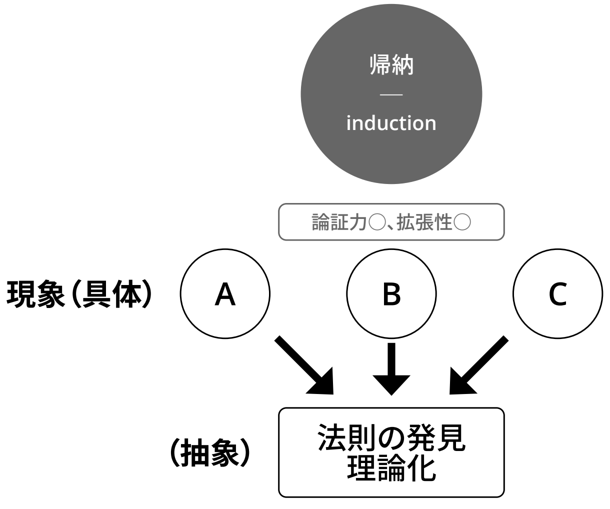
ポイント

（　　　　　　　　　　）とは、さまざまな事実や事例に共通することがらを発見し、法則やルールを導き出す方法のことである。

事実や事例を恣意的に選んだり、少数の事例で導き出そうとすると、偏った（　　　　　　　　　　）やルールが生まれるので注意しよう。

（　　　　　　　　　　）を用いるには、さまざまな経験をしたり、いままでの経験を振り返ったりしながら、（　　　　　　　　　　）点を発見するトレーニングが必要となる。

○ 帰納（インダクション）



生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

皆さんは「大人」でしょうか、「大人」ではないでしょうか、大人になるには何が必要でしょうか。あなたの考えを400字以内で述べてください。

（川村学園女子大学　文学部　心理学科　推薦　2016　改題）

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　まだ私は大人ではないと思う。「大人」とは、自分で働いて稼ぎ、自分で暮らしを支えることができるということだと思うからだ。法律では、年齢で未成年か、成人かが区別されるが、未成年でも結婚はできることになっている。しかし、学生のうちに結婚して、自分でお金を稼ぎ、生活ができなかったら、やはり子どものままではないかと考える。自由に結婚や就職、住む場所も決めることができるが、その全てに責任が伴う。それらを自立して行えなければ大人ではないように思う。

　私が今、何かトラブルを抱えたとしたら、結局は親が守ってくれるだろうと考えてしまう。そのように考えている時点で私はまだ大人ではないと思う。このことから「大人」になるには自分の行動に、社会的にも金銭的にも責任が持てることが大事なのではないかと思う。そしてその覚悟は、法律や年齢で線引きができるものではなく、精神の成長がないと得られないと思う。

(390字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　大人と子どもを分ける例として、契約書の保護者同意サインがある。子どもの責任は保護者が取るが、大人は自らの責任を自分で取る必要がある。責任を取るとは、結果の良し悪しに関わらず、自分の決断の結果を受容する事であり、誰のせいにもしないという事だ。

　何かを決断するには、正しい知識の他に的確な判断が必要だ。知識不足ならば調べる事や尋ねる事が求められる。自分で対処できない時には人を信頼して任せる勇気も必要だ。何ができてできないのか、自分を知らないと判断を下せないだろう。決断をする際には、自分に限界がある事を知り、他者との関わりの中で生きる事が必要だと気付かざるを得ない。逆説的に自分が持つ能力によって他者を助ける事が求められる。己の限界を知る者が大人であり、個人に限界がある事を知って他者と、より良い結果をもたらそうとする事が、大人になるためには必要であると考える。

（379字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第12講

意見・根拠の紡ぎ方(3)

対立する物事を批判する【反論・再反論】

チャプター1 レクチャー① 反論と再反論

チャプター2 レクチャー② 譲歩構文

ポイント

自分の意見や根拠、展望を論じるとき、他者から(　　　　　　　　)されることがある。自分の主張の(　　　　　　　　)性が否定されることになる。

こうしたときはあらかじめどのような(　　　　　　　　)を受けるのかを想定することからはじめよう。

対処の一つに、想定した(　　　　　　　　)を反論して、相手からの反論を食い止めるということが考えられる。
この手続きを「(　　　　　　　　)」「反駁(はんばく)」という。

再反論・反駁をした上で、自分の主張の(　　　　　　　　)性を述べよう。

チャプター3

問題およびヒント

問題を見てみよう

あなたは夫婦同姓(結婚すると夫婦は夫または妻の姓のいずれかを共通の姓としなければならないとすること)の制度に賛成ですか、反対ですか。あなたの考えを400字以内で述べてください。

(岡山商科大学　推薦　2017　改題)

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例①

　夫婦別姓を認めるべきだとの議論がさかんになっているが、私は夫婦同姓制度に賛成だ。確かに、結婚を機に多くの公的名義を変更する手続きは手間であり、大概の夫婦は夫姓を名乗ることが慣習となっていて、これはジェンダー不平等の一つだとも思う。だが、夫婦の姓は子どもができた時に別の意味を持つと思うのだ。

　両親が別姓の場合、子どもは両親どちらかの一つの姓を選んで名乗ることになる。名前は幼稚園に入園する時に始まり大人になるまでずっと呼ばれ続けるもので、たくさんの書類に記入することになる。その度に、別の姓の親の方との繋がりの無さが心に刻み込まれてしまうと思う。大人の都合やジェンダーに対する価値観から別姓にして、子どもの自我を限定することは良くない。また、現在の国や生活の制度やサービスは、ほとんどが同姓を前提として成り立っているので、今から変えると混乱するのでやめた方がよい。

(397字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
５段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

答案例②

　私は、夫婦同姓の制度に反対だ。なぜならそれは結婚しても名字を変えたくないとお互いが考えている場合、やむなく名字を変えなければならなくなった人の自由を奪っていると言えるからだ。人は、生まれながらにして自由に生きる権利があり、自分の名字に関しても自由に選ぶ権利があるはずである。

　また、男女の平等を進めていくためにもこのような仕組みは変えていくべきである。これまで、女性の結婚に対して「家庭に入る」という表現が使われてきたし、今でも使われることはある。しかし、現在、このような「男は外で働き、女は家庭を守る」という家族の捉え方は前時代的なものとなりつつある。そして、結婚に際して女性が名字を変えるということはそのような風潮のシンボルの一つとしてあるようにも思う。男女平等を実現していくためにも、現在の夫婦同姓を強要するような制度から変えていくべきなのではないだろうか。

(385字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター6

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第13講

意見・根拠の紡ぎ方（4）

対立する物事から新しい見識を見出す【弁証法】

チャプター1

レクチャー

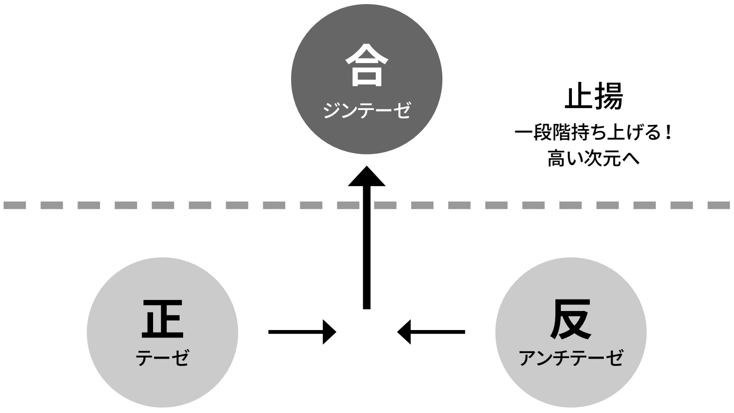
ポイント

自分の意見や根拠、展望を論じるとき、他者から（　　　　　　　　　）されることがある。自分の主張の（　　　　　　　　　）性が否定されることになるので、あらかじめどのような（　　　　　　　　　）を受けるのかを想定する。

こうしたときの対処の方法の一つとして、（　　　　　　　　　）法が考えられる。

自分の主張（　　　　　　　　　）と相手の主張（　　　　　　　　　）をともに取り入れ（　　　　　　　　　）、よりよい解を導く（　　　　　　　　　）。

○ 弁証法



生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

　ベビーカーを電車やバスに乗せることについて、必要とする人がいる一方、そのことにさまざまな理由で否定的な考えの人たちもいます。あなたが、電車・バス会社の社長だったとして、ベビーカーの利用についての会社の方針・アイデアを示した上で、現在、ベビーカーを必要とする人、否定的な考えの人双方の理解を得ることができるような説明を加え、あなたの考えを600字以内で述べてください。

（昭和女子大学　生活科学部　環境デザイン学科　推薦　2016　改題）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100
200
300
400
500
600

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　バスや電車は、誰もが利用する公共交通機関である。よって、ベビーカーを必要とする人、ベビーカーに対し否定的な考えを持つ人も、互いに思いやり譲り合いの精神があれば気持ちよく乗ることができると考える。

　まず、問題になるのが通勤・通学の際の混雑時ということになるだろう。混み合った車内にベビーカーは邪魔でしかない。そして、そのベビーカーに乗る赤ちゃんも危険にさらされることになる。混雑時は避けるというのは、双方にとってメリットとなる。しかし、やむを得ず混雑時に乗るといった場合はどうだろう。すべての車両という訳にはいかないとしても、所定の場所を確保しておく必要があると考える。例えば女性車両に設けるなど、指定の場所へ乗り込むようにする。スムーズな乗車を促すために、視覚的に、こちらの車両、こちらの場所と分かるようにしておくことも大切だと考える。

　ベビーカーに限らず、車いす、お年寄りなど、思いやり譲り合いを必要とする方は多くいるので、優先席も設けている。だからといって、このような人のみが優遇という訳ではない。通勤・通学の混雑時は、時間に追われ急いでいる、毎日通って疲れている、そのような方々に対し、やむを得ない状況でない限りは、時間をずらす、通行の妨げにならないよう気を付けるなど、配慮することも必要であると考える。互いに気持ちよく公共交通機関が利用できるよう、ご協力頂きたい。

（598字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　ベビーカー乗車について受け入れる体制を整え、かつ他の乗客にも心身の我慢がない状態を目指していきたい。その為に保育サポート者の同乗サービスを導入しようと思う。

　ベビーカー乗車が議論となるのは圧倒的に通勤通学の混雑時間帯である。ベビーカーに大きく場所を取られたことで乗車できずに遅刻したり、疲れた体で立っているのに子どもを押さないように気を付けるといったことを経験した人が、子連れに不満を募らせることは理解できる。一方でそのような時間帯に子どもを連れて外出するのには回避しがたい必要があると想像できる。利害が相反するこの二者では対立するだけであるから、サポート者という第三者を介在させることで軋轢を緩和させる狙いだ。保護者は人の手助けがあれば子どもと荷物は抱えてベビーカーを畳むことができるし、独りでは大勢の他人に声を出す勇気が出なくても、味方がいることで「すみません」「ありがとうございます」の一言も出やすくなると考えたのである。協同経験は孤独になりがちな都市部で子育てする親にとって意義ある仕組みであろう。

　このサポートは保育や交通工学を学ぶ学生の実習として活用してもらうことを想定している。ベビーカーメーカーの商品開発部に参加してもらうのも効果的だ。この取り組みから、実体験を積んだ保育士が育ち、移動しやすい駅や車両の開発が進み、新しい形のベビーカーも企画される可能性がある。

（596字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第14講

展望の構想の方法

知をもとに仮説を立てる【アブダクション・リトロダクション】

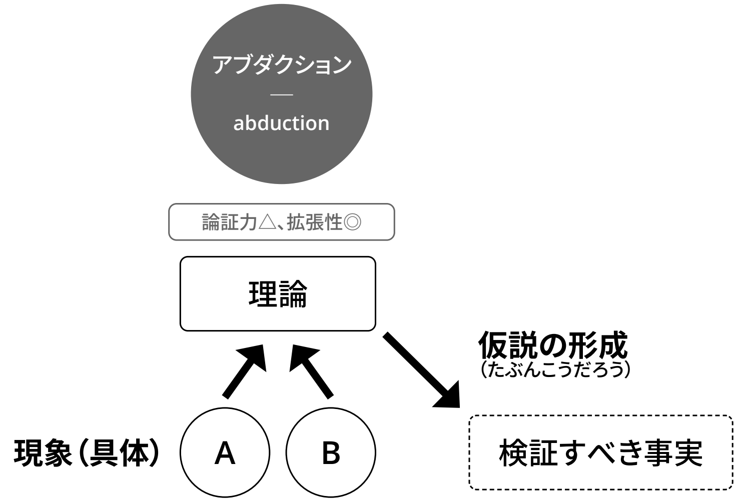
チャプター1

レクチャー

ポイント

　これまで起こった事柄・現象を観察して得られた理論をもとに、仮説を立てる思考の方法を（　　　　　　　　　　）という。
　自分の意見と理由は過去起こった事実・現象をもとにつくられたものだから、それをもとに「たぶんこうすればよくなる」と（　　　　　　　　　　）を立てられる。
　（　　　　　　　　　　）で得られた仮説に正当性があるかどうかは、検証してみないとわからない。

○ アブダクション（リトロダクション）



生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

下の言葉は現代社会の諸問題に関するキーワードです。これらの言葉から3語を適切に使用して、社会の問題について600字以内で論じてください。また、使用した3語を下の枠に書いてください（4語以上を使用しても減点にはなりません）。

依存　外国人労働者　格差社会　家族　虐待　教育
原子力発電　再生可能エネルギー　終身雇用　少子高齢化
正義　生態系　聖地巡礼　生物多様性　多文化社会
地球環境　長時間労働　ツーリズム　ひきこもり
非正規雇用　平等　ボランティア　まちづくり

（京都女子大学　現代社会学部　現代社会学科　現代社会専攻　AO　2018）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100
200
300
400
500
600

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　近年、家族の介護や幼い兄弟の育児を行う未成年介護者「ヤングケアラー」の存在が問題視されるようになった。真面目な未成年者が家族を思ってケアに携わることが、結果的に未成年者本人の勉強や生活に悪影響をもたらしているのは大きな問題だと思う。

　ヤングケアラーが生まれる背景は家庭によって異なるが、主には家族構成や経済的な問題が挙げられるだろう。低所得の家庭は親が時間を問わず働く必要があり、また金銭的負担から要介護者を施設に入所させることができず、子どもに介護を依存せざるをえないという例もある。また、家族の問題は家族で解決するべき」という考え方が日本に根強くあることから、家族だけで問題を抱えて、外の人に助けを求めていないで困っている場合もあるだろう。「大切な家族の世話をするのは当たり前のことだ」という意識を、ヤングケアラー自身も有している状況が考えられる。

　日本では、児童福祉法で、児童も一人の人間として尊重され平等に権利を有することを保障されている。全ての子どもの不平等を無くすために、まずはヤングケアラーという存在についてを、問題として皆が知る必要があるだろう。「家のお手伝い」の域を越えて、介護や育児の働き手として子どもに依存しているのは歪んだ家族のあり方であるということを社会で共有すること、そして当事者である子どもたちが、周りの大人に助けを求められる環境づくりを行うことが重要だ。

(597字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

現代日本は少子高齢化が進み、将来的な労働人口減少が問題となっている。そのためAIロボットの検討や、外国人労働者の雇用が行われているが、労働人口の減少を解決するにあたって、代わりの労働力をただ増やすという考えには不足があるのではないだろうか。

外国人労働者の待遇については以前から長時間労働や低賃金、賃金未払いなどが問題として指摘されている。しかし、このような労働環境問題は外国人労働者だけではなく、日本人労働者も該当していて、企業全体として改善していくべき課題である。ブラック企業という言葉もあるが、仕事が無いため不満を訴えられずに勤め続けている人も少なくないだろう。雇用側が非正規雇用者の足元を見ているという悪循環とも言える。

日本国憲法は「健康で文化的な最低限度の生活」を保障しているため、労働基準法による週に40時間の勤務で、理論上は生活に困ることはないことになっている。しかし、2019年度の国民生活基礎調査で全世帯の過半数は生活が苦しいと回答していることから、正しい賃金が支払われていない可能性があるということが推測され、適切でないことを示していると考える。日本に来ても満足な仕事に就けない事は国際社会としても問題であり、誰もが安心して生活できるだけの賃金と労働環境を提供することが日本全体の課題と言える。そのためには企業体制や税金体制を改革していく必要があると考える。

(594字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第15講

形式別の基本出題パターン
テーマ型・課題文型・データ型

チャプター1

レクチャー

ポイント

　小論文の出題形式はおおよそ（　　　　　　　　　　）種類ある。それぞれ対応の方法があるので学んでいこう。

　（　　　　　　　　　　）型とは、特に資料などがなく、設問のみが示されるものである。

　（　　　　　　　　　　）型とは、設問に加えて（　　　　　　　　　　）が付されるものである。

　（　　　　　　　　　　）型とは、設問に加えて（　　　　　　　　　　）や（　　　　　　　　　　）が付されるものである。

　出題によっては（　　　　　　　　　　）と（　　　　　　　　　　）や（　　　　　　　　　　）が組み合わされるときがある。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

　ドイツ出身の哲学者であるハンナ・アーレントは公共的空間を「互いに異なった人々（あるいは価値観）が出会う場」と述べています。私たちが新しいコトやモノに出会うには、公共の空間に参加することが欠かせません。しかし、利益や価値観が異なる他者の存在を排除しようとする人もいるのは事実です。こうした場合、あなたならどのように振る舞いますか。具体的な事例を交えながら、前述の「排除しようとする人」がなぜそう振る舞うのかを考察しながら、600字以内で述べてください。

（オリジナル）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100
200
300
400
500
600

(　　　　　字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　他者を排除するのは異質性を感じるからではないだろうか。集団になじまない存在を排除することで集団の均質性を保とうとするのではないだろうか。

　そのように考えるのは、小学生の時の体験による。海外から転校生が来た時、私を含めた在校生は遠巻きに彼を見ながら親しくすることができずにいた。それは人種の違いがすぐに分かる容姿や、英語圏の名前に異文化を感じたことに関係して排除を行っていたといえる。時が過ぎ、彼の持つ私たちと同じ小学生らしさに気づくと、彼を遠巻きにすることはなくなった。彼が「ハーフの転校生」から、ただの「同級生」に転じたことで排除が起きなくなったからだ。

　排除には母体となる集団が不可欠だが、それは共通項を持つことが成立条件だ。例えば年齢や居住区域が近いと学校に、同じスポーツを楽しむ人とはクラブチームや部活という集団に属す。そして制服着用や練習時間の確保など、集団に相応しい振る舞いが求められる。集団を維持する振る舞いから逸脱した時に均質性を乱すものとして排除が起きるのではないだろうか。人は生活するうえで家族、学校、部活、塾、習い事、オンラインゲーム仲間など複数の集団に属していて、より自分に合った集団に移動することも可能である。しかし、帰属している集団や構成員を尊重して求められる振る舞いを行い、逸脱しすぎないことも必要ではないだろうか。

(595字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　意見や価値観が異なる他者と協力して何かを行う場合には、互いの意見のすり合わせや譲り合いが不可欠だと考える。なぜなら様々な立場からの考えを考慮することで、よりアイデアの発展や進化が起きると期待するからだ。しかし、中には譲り合いではなく、ある意見を採用して他を不採用とする人もいるのはなぜだろうかと考えた。

　一つの意見だけを採用する際、先例に則っていることや強者の意見が重要視されるように思う。恒例行事や、部活動での先輩の意見などがその例だ。毎年開催しているから今年も行う、先輩の意見だから従う。部活動の先輩が、引退後も訪ねてきて、上からの発言を繰り返すのは、自分の意見が通るということを知っているからではないかと思う。そのように、一つの意見に単純に従うことは思考の停止が起きているように思う。そして、新鮮さも無く、繰り返すだけとなり、状況に合わなくなる可能性もある。構成員も異なるのだから、その時々の最善を尽くすために、考えることを惜しまず取り組む必要があるだろう。

　そのためには関係者がどのような目標のためにどのような意見を持っているのかを聞き、何を目指すかということから意見のすり合わせをしていく必要があるだろう。例えば収益と顧客満足度のどちらを優先させるかによっても様々なことが変わってくる。多くの人の意見を聞き、まとめる能力が必要であると考え、そのように振る舞いたいと思う。

(597字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
５段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第16講

課題文型の対処法（1）

要約問題の基本

チャプター1

レクチャー

ポイント

　課題文型の設問の一つに（　　　　　　　　　　）問題がある。
　（　　　　　　　　　　）とは文章の（　　　　　　　　　　）を抜き出したものである。
　文章には（　　　　　　　　　　）となる部分と、それを補足説明した部分がある。
　補足説明の部分を削ぐためには「（　　　　　　　　　　）と抽象の関係」「同一内容の（　　　　　　　　　　）」など、（　　　　　　　　　　）部分を見つけるとよい。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント①

問題を見てみよう

文章の内容を100字以内に要約しなさい。
（東北学院大学　AO 2018）

部活で死亡事故が起きた。体罰やいじめが止まらない。休日出勤で顧問の教師が悲鳴を上げる……。ここ最近，絶望しそうになるほど，部活の深刻な問題が一挙に出てきた。いったい部活はどうしたのか。これからどうすればいいのか。（中略）

筆者はこれまで，部活の現場に足を運び，部活の歴史を振り返り，また諸外国との国際比較をする研究をしてきた。すると，実は部活は当たり前じゃない，ということがわかった。

部活は，法律で決まっているわけではないし，カリキュラムにも含まれないのに，日本中の学校で行われている。部活は「自主的」な活動なのに，生徒や教師を強制的に巻き込むこともある。今と違って昔の部活は，生徒の加入率は低く，活動日数も少なく，教師の関わりも少なかった。そして，海外の学校には日本のような部活はない。部活は日本独特の文化なのだ。

今の日本の部活は過剰なほど肥大化している。9割の中学生，7割の高校生が部活に入っていて，全生徒に加入を義務付ける学校もある。9割の教師が部活の顧問に就き，全教師に顧問を義務付ける学校も多い。

部活は持続可能性が危ぶまれるほど巨大になり，課題が山積みだ。喫緊の重要課題は，生徒の生命を守ることだ。もう一つ，教師の生活を守ることも重要課題だ。部活を支えているのは教師だ。過酷な勤務状況に苦しむ教師を支えなくては，部活は成り立たない。「たかが部活」で，生徒と教師を犠牲にしてはいけないのだ。

しかし，同時に「されど部活」とも言いたい。やり過ぎてはいけないが，全廃しろとは思わない。なぜなら部活には，生徒がしたいことができる，という良さがあるからだ。部活が人生を楽しむための練習場所になってほしいと願っている。

楽しむことは素晴らしいが，実現は意外と難しい。スポーツや文化活動を楽しむには，仲間を集め，道具をそろえ，施設を借りて，と準備が大変だ。だから，部活で「楽しむ練習」をしてはどうか。したいことを見つけ，できるように試行錯誤する。生徒同士で話し合い，協力する。教師に相談し，学校と交渉する。自分が楽しむためなら，自分のために頑張れるはずだ。

「楽しむ練習」は，授業ではできない，部活だからこそできること。部活で「楽しむ力」を育ててほしい。人生を楽しむために。

（「部活動「楽しむ練習」の場に」中澤篤史，『読売新聞（東京朝刊）』2017年4月29日，11ページより一部引用）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

																			100

(　　　　字)

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

要点

①部活は（　　　　　　）で行われ、（　　）的な活動なのに（　　）や（　　）を強制的に巻き込むこともある日本独特の（　　）だ
②部活は（　　　　）している
③重要課題は生徒の（　　）を守ることだ
④もう一つ（の重要課題）は教師の（　　）を守ることだ
⑤やりすぎはいけないが、全廃は（　　　）だ
⑥なぜなら部活には生徒が（　　　　　　）ができるからだ
⑦だが部活の実現は（　　　）
⑧だから、部活で（　　　）練習をしてはどうか（人生を（　　　）ために部活で（　　　）力を育ててほしい、部活が人生を（　　　）ための練習場所になってほしい）

　日本独特の文化である部活動は肥大化し、
生徒の生命や教師の生活を守ることが重要課
題だ。しかし、生徒の希望が実現できるゆえ、
全廃は否定的だ。部活動の実現は難しいが、
部活動で人生を楽しむ練習をしてほしい。 100

（99字）

　日本独特の文化である部活動は生徒の生命
を守ること、教員の負担を軽くすること等、
これからの課題が山積みである。しかし、特
性を活かして人生を楽しむための練習場所と
も言えるので、良いことであると思う。 100

（98字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

問題およびヒント②

問題を見てみよう

文章の内容を100字以内に要約しなさい。
(東北学院大学 学校推薦型選抜・総合型選抜 A日程第二次選抜 2020)

自分を「フランス人」だと感じますか?それとも「レバノン人」だと感じますか?1976年にレバノンを離れてフランスに住むようになって以来、まったく他意はないと思うのですが幾度となく訊かれてきました。私の返事はいつも同じです。「両方ですよ!」。両方の顔を立てようとしてそう言っているのではありません。ちがう答え方をすれば嘘になるからです。ほかでもない私という人間を形づくっているのは、このように私が二つの国、二つから三つの言語、そして複数の文化的伝統の境界で生きているという事実なのです。これが私のアイデンティティなのです。(中略)

ということは、半分がフランス人で、半分がレバノン人ってこと?とんでもない!アイデンティティを切り分けることはできません。半分に分けたり、三つに分けたり、細かく区切ったりはできないのです。私には複数のアイデンティティなどありません。ただ一つのアイデンティティしかないのです。このアイデンティティはさまざまな要素から成り立っているのですが、ただ、その<配分>が人ごとにまったく異なるのです。

ところが、私という人間の成り立ちには私が帰属しているすべてが必要なのだと具体的な理由を挙げながら事細かく説明したあとでも、(中略)こうささやいてくる人がいるのです。「あなたがそうおっしゃるのはごもっともです。でもね、自分のいちばん深いところでは、自分を何者だと感じていらっしゃるんですか?」

そんなふうに何年もしつこく訊かれ続けてきました。これまでは笑ってやり過ごしてきました。しかし、さすがにもう笑えません。というのもこの問いは、広く共有された、そして私には危険なものに思える、ある人間観を如実に示しているからです。「自分のいちばん深いところでは」あなたは何者なのですか、という問いかけの前提にあるのは、各人の「いちばん深いところには」、その人が帰属する唯一のもの、いわばその人の「深い真実」、「本質」があって、それは生まれながらに定まっており変化することはない、という考え方だからです。あたかも、それ以外のもの一自由な人間として生きていくなかで身につけてきたその人自身の信念、好み、感受性、他の人との相性、要するには人生そのもの一にはまったく意味などないかのようです。

(アミン・マアルーフ著 小野正嗣訳『アイデンティティが人を殺す』ちくま学芸文庫、2019年、9月~11ページより一部省略して引用)

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

（　　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

答案例②

要点

①ほかでもない私という（　　）を形づくるのは、複数の国と言語と文化的伝統の境界に生きているという事実であり、（　　　　　　　　　）だ
②そして、私には（複数の（　　　　　　　　　　）などなく、）要素の（　　）が異なる一つのアイデンティティしかない
③しかし「一番深いところでは自分は（　　）だと感じているのか」と問う人がいるがもう（　　　　　）
④というのも、その人が帰属する（　　）のものが生まれながらに定まり、変化しないという（　　）な考え方（人間観）を示し、広く（　　）されているからだ
⑤（それは）あたかも（　　）な人間として生きる中で身につけた（　　）、好み、感受性、他者との（　　）（人生そのもの）に意味はないかのようだ

	私	の	ア	イ	デ	ン	テ	ィ	テ	ィ	は	複	数	の	国	と	言	語	と
文	化	的	伝	統	と	い	う	要	素	の	配	分	が	異	な	る	。	し	か
し	、	帰	属	す	る	唯	一	の	も	の	が	存	在	し	、	不	変	だ	と
い	う	人	間	観	が	広	く	共	有	さ	れ	る	現	実	が	あ	り	、	私
は	笑	え	な	い	。	人	生	に	意	味	は	な	い	か	の	よ	う	だ	。

100

（100字）

	様	々	な	要	素	か	ら	成	り	立	つ	の	が	ア	イ	デ	ン	テ	ィ
テ	ィ	だ	が	、	人	が	生	ま	れ	な	が	ら	に	属	す	る	唯	一	の
も	の	だ	と	考	え	る	人	も	い	る	。	そ	れ	は	人	生	の	中	で
後	天	的	に	身	に	つ	け	た	も	の	を	無	意	味	だ	と	考	え	る
こ	と	に	な	る	の	で	は	な	い	だ	ろ	う	か	。					

100

（95字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター6

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第17講

課題文型の対処法（2）

読解問題の基本

チャプター1

レクチャー

ポイント

課題文型の設問の一つに（　　　　　　　　　　　）問題がある。
（　　　　　　　　　　　）とは文章の（　　　　　　　　　　　）説明が求められるものである。
出題の典型的なパターンは「ここはどういうことか」という（　　　　　　　　　　　）説明と「なぜそうなるのか」という（　　　　　　　　　　　）の2つである。
いずれも該当する部分を（　　　　　　　　　　　）拾い、まとめることが求められる。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント①

問題を見てみよう

次の文を読んで設問に答えなさい。
設問　下線部(1)について、著者は男性と女性の成熟度に関して、どのように考えているのか。100字以内で述べなさい。
(兵庫医科大学　医学部　医学科　推薦　2016)

夜道ゆく君と手と手が触れ合ふたび我は清くも醜くもなる
栗木京子『水惑星』

「また電話しろよ」「待ってろ」いつもいつも命令形で愛を言う君
俵　万智『サラダ記念日』

女性の側が男性にどう反応するか、その例を二つ。栗木京子は、夜道を連れ立って歩いているところでしょう。まだはっきりとした恋人とも言えない淡い恋心。並んで歩いているとふと手が触れることがある。驚いて引っ込めたりもするのでしょうが、そんな「手と手が触れ合ふたび」、自分は「清くも醜くなる」と詠います。相手の反応によって、自分はどんなふうにも染め分けられてしまうといった告白でしょうか。あなたがやさしければ清い女になれるけれど、意地悪をされたり裏切られたら、きっと醜い女になってしまうだろう、と言っているようです。実生活の具体も、苦しさもまだはるか遠くにある時代の恋の思いでしょう。

俵万智の一首では、相手の男性の性急さをやわらかくたしなめるように受け容れているという歌になっています。男は、自らの優位を示そうとするかのように、「また電話しろよ」とか、「待ってろ」とか、「いつもいつも命令形で」相手にものを言う。

そうだったよなあ、と私自身を振り返って苦笑いするしかありませんが、若い男は恋人に対して自信がない。その裏返しとして、「命令形で」偉そうにものを言いたがる。突っ張っているのです。そんなことは同じ年頃の女性ならとうにわかっているわけで、「命令形で」言っているのは、愛の告白なのよねと軽く受け流しつつ、従っているのでしょう。偉そうにしないでよ、とは言わない。(1)成熟度がそもそも違うのです。俵万智は、軽い口語文脈で一世を風靡した歌人という位置づけがなされていますが、若いだけでなく、たしかにものがよく見えていた女性であったと、歌を読みつつ思うことが多くあります。

一永田和宏著「人生の節目で読んでほしい短歌」より引用

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

（　　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

要点

①女性は、男性の反応を（　　）し、自分を（　　　　）たり、従ったりする
②男性は、女性に対して（　　）がなかったり、（　　　　）りして、女性のように相手の反応を（　　）したり、自分を（　　　　）たり、従ったりはしない

　男性は自らの優位を示すために命令形で女
性にものをいうことがあるが、女性に対して
の自信のなさの裏返しである。女性は、そう
した男性のことはわかっていて、その反応を
受容し、自分を染め分けたり、従ったりする。

（100字）

　男性は女性に対し自らの優位を示すように
命令形で偉そうに言う。つまり、自信がなく
威張っているのだ。女性はおおらかに受け流
し、男性の性急さを、柔らかく、たしなめる
ように受け入れることができる大人である。

（100字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

問題およびヒント②

問題を見てみよう

次の文章を読んで設問に答えなさい。
設問　傍線部の「この政策の是非を論じるつもりは、ありません」について、筆者は何故ここで是非を論じるつもりはないなどと言っているのでしょう。文中の言葉を用いながら説明しなさい（一〇〇字以上一五〇字以内）。

（中京大学　総合政策学部　総合政策学科　推薦　2018）

日本で近代的な教育制度が整ったのは、明治時代でした。明治政府は、近代国家建設のために世界各国の制度を取り入れようとしました。教育はフランスの制度を取り入れ、「国民各自が身を立て、智を開き、産を作るための学問」といった近代市民的な教育論に則りました。封建的な江戸時代からすると、「国民各自が身を立て」るという高い理想を掲げたことは、画期的であったと考えます。

しかし、明治の半ばを過ぎると、教育政策は当初のものとは大きく異なっていき、国家主義的な要素が強くなっていきます。当時の日本は、欧米列強による東アジア諸国の占領・侵略の危機が迫る中で、近代的な国家を確立しなければ、植民地化されてしまうという危機感が強くありました。政府としては、「富国強兵」「殖産興業」を迅速に進める必要から、国家の発展に寄与する人材の育成を教育に求めたのでしょう。

この政策の是非を論じるつもりは、ありません。何故なら、教育とはもともと、社会の要請を強く反映するものだからです。明治の人々が当時の政界情勢の中、どうすれば日本が生き残っていけるかを、真剣に考えた上での政策であったことは間違いないと思います。ただ、結果的に教育の現場では、「自分の意見や考えを主張する」ことよりも、「指示されたことを実行する」ことの方が重視されることとなりました。

第二次世界大戦後は、マッカーサーによる五大改革の指令の一つとして、教育を通じて民主主義が日本に根づくよう、教育制度の自由主義的改革が要求されました。教育から国家主義的な色彩は追放されていき、個人の自由や権利の追及を重視する方針が、教育の中に盛り込まれたのです。それでは、戦後の教育がどうなっていったのか、この点に関して述べます。

戦後まもなくの日本は本当に貧しく、焼け跡からどのように復興していくのかが、喫緊の課題であったことは間違いありません。生きていくことに精一杯の時代だったのです。そして復興が進む中、ベビーブームが到来し、子供がとても多く競争が激しい時代になっていきます。そんな時代に求められたのは、「自分の意見や考えを主張する」ことではないでしょう。競争社会においては、「指示されたことを実行する」ことで、「よりよいポジション」を獲得することが、先決だったと思います。「クラスの中でよりよい成績」「よりよい高校への入学」「よりよい大学への入学」「よりよい就職」という具合に、常に人よりも相対的に上にいることで、何らかのメリットがある、という風潮が当時はありました。個人の自由や権利の追求は、あくまで他人との競争の中で認められるものだったのです。戦後のそのような風潮は、バブル崩壊まで続き

ました。景気変動はあったものの、経済は右肩上がりで、「頑張れば、今日より明日の方が、よりよい日本になる」といった空気もありました。 1960年代の高度成長期に生まれ育った私も、この感覚は強く持っていました。

また、戦後日本をリードしてきたのは、「日本株式会社」とも称される民間企業群であり、それを支えた官僚であったことは間違いないでしょう。両者は、二人三脚で動いてきました。成長をあてにした戦略をトップが立て、それを実現する役割を担ったサラリーマンや役人は、「指示されたことを実行する」ことで、その組織を円滑に動かしていたのです。

そのような社会情勢において、重視されたのは、やはり「学歴」でした。受験の際、膨大な知識を、粘り強く努力し要領よく頭に詰め込み、結果を出してきた人間は、まさに「指示されたことを実行する」人間として評価しやすかったのでしょう。大学で学んできたことより、受験勉強の結果である大学名が、重視されていたのです。その流れはバブル終焉まで続きました。私が教員になったのは、バブル前夜の1985年です。当時はまだ経済的には右肩上がりの神話が存在し、受験の競争も大変激しい時代でした。

教師になったばかりの私は、生徒たちに、「大学受験があるから、今は大変でも我慢して勉強を頑張るしかない」といった言葉をよく使っていたことを思い出します。そして、その言葉がかなり効果的であり、生徒たちには逆らいにくいものがあったのも、事実です。思い起こすと、戦後からバブル終焉までに出来上がった、高校受験・大学受験の厳しい状況が、受験を頂点とした教育の流れを作ってきたことが実感されます。

自分自身も、当時高校生の担任をする機会が多かったのですが、生徒が大学に進学して何を学ぶのかより、どの大学に進学するのかを常に念頭において受験対策をしていたことを思い出します。この時期は、私だけでなく多くの教師が、大学受験をピラミッドの頂点とした教育をしていたことでしょう。

（出典　石川一郎『2020年からの教師問題』ベスト新書、二〇一七年、出題の都合上、本文の一部を改めた）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

150

（　　　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

答案例②

要点

①明治政府が（　　　　　　）のために教育は（　　　　　）の制度を取り入れ、近代市民的な教育論に則った
②しかし、明治の半ば以降、（　　　　）な国家を確立しなければ（　　　　　）されてしまうという危機感から、（　　　　　）な要素が強くなった
③（このように）教育はもともと（　　）の要請を強く反映するものだから

　明治政府が近代国家建設のためにフランス
の教育制度を取り入れ、近代市民の教育論に
則った。しかし、明治の半ば以降、近代的な
国家を確立しなければ植民地化されてしまう
という危機感から、国家主義的な要素が強く
なった。このように教育はもともと社会の要
請を強く反映するものだから。

（134字）

　教育はもともと、社会の要請を強く反映す
るものであり、明治の人々が当時の世界情勢
の中、どうすれば日本が生き残っていけるか
を考えたうえでの政策であったことは間違い
ないからである。富国強兵を進めなければ、
欧米から植民地化されてしまうという危機感
があり、当時の政府が行った教育は仕方のな
い事である。

（146字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

区分	項目	評価
設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター6

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第18講

課題文型の対処法(3)

論述問題の基本

チャプター1

レクチャー

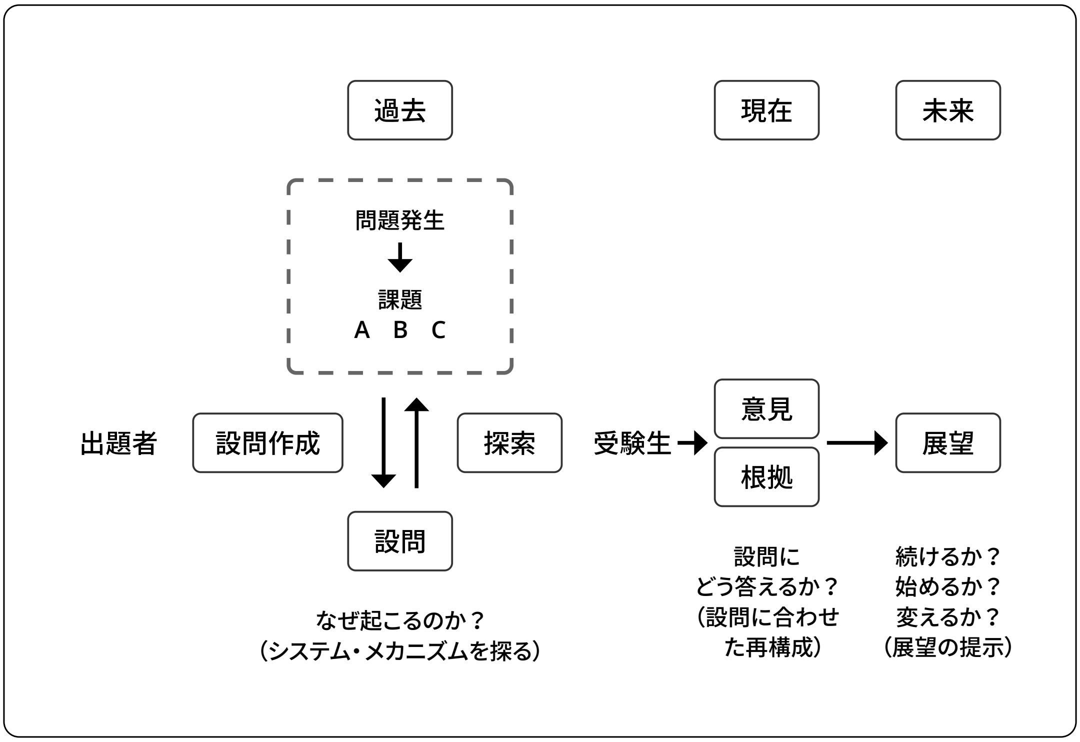
ポイント

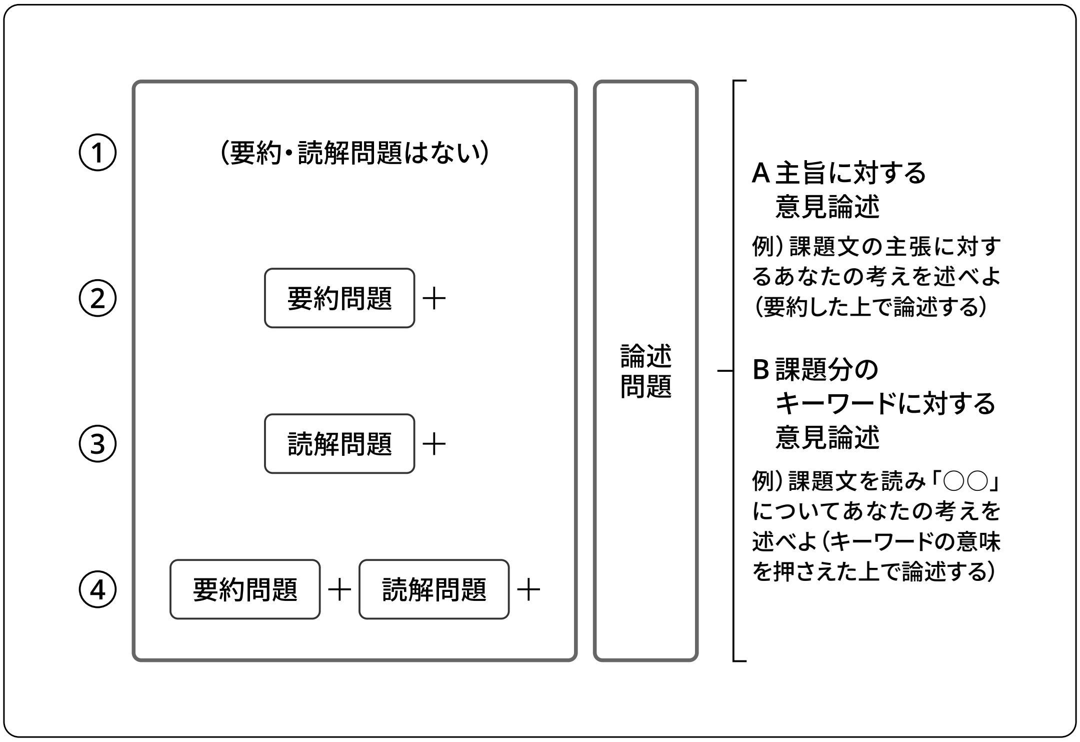
　課題文型の設問の一つに(　　　　　　　　　　)問題がある。
　(　　　　　　　　　　)とは課題文の趣旨をもとに、自分の主張を論じるものである。
　まずは課題文の(　　　　　　　　　　)を把握し、
その主張に(　　　　　　　　　　)するのか、
(　　　　　　　　　　)を呈するのか、
筆者と自分の主張を(　　　　　　　　　　)するのかなど、どういう立場に立つかを決めよう。
　その立場を一貫させながら(　　　　　　　　　　)・
(　　　　　　　　　　)・(　　　　　　　　　　)を考えよう。

生徒メモ欄

教員記入欄

○ 論述問題出題者の意図


過去
現在
未来
問題発生
課題
A　B　C
出題者
設問作成
探索
設問
受験生
意見
根拠
展望
なぜ起こるのか？
（システム・メカニズムを探る）
設問に
どう答えるか？
（設問に合わせ
た再構成）
続けるか？
始めるか？
変えるか？
（展望の提示）


①
（要約・読解問題はない）
②
要約問題 ＋
③
読解問題 ＋
④
要約問題 ＋ 読解問題 ＋
論述
問題
A 主旨に対する
意見論述
例）課題文の主張に対す
るあなたの考えを述べよ
（要約した上で論述する）
B 課題分の
キーワードに対する
意見論述
例）課題文を読み「○○」
についてあなたの考えを
述べよ（キーワードの意味
を押さえた上で論述する）

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

　下記の文章を読んで、「本当の平和」について600字以内であなたの考えを述べなさい。
（東洋英和女学院大学　人間科学部人間科学科保育子ども学科　推薦　2018　改題）

　戦争の悲しみを体験したわたしたち老人は、平和の大切さをおそらくきみたち以上に痛感しています。だから、ほんとうは平和への思いを強くもつわたしたちが平和を実現して、それをきみたちにバトンタッチすべきでしょう。けれども、わたしたちはその平和をいまだに実現できていません。
　たしかに、六十年前に大きな戦争が終わってから今日まで、日本には戦争はありませんでした。人々のくらしはゆたかになって、だれもがあたりまえに学校で学ぶことができるようになり、平均寿命は世界一にもなりました。
　けれども、これが「平和」ではありません。
　きみの目を自分や自分の周囲にとどめておかずに、どうか外にも向けてみてください。世界にはまだあちこちで争いが起こっています。何年も何十年も続いている戦争もあります。新聞を開けば、毎日のように武力による衝突でいのちを落とした人の記事がのっています。
　たとえいま戦争はなくとも、とても貧しく、食べるものもなく、医療も受けられずに五歳までも生きられない子どもたちが、世界にはおおぜいいます。
　その一人ひとりが、きみやわたしと同じ人間であり、同じようにかけがえのない、この世でただひとりの大切な存在であるにもかかわらず、です。自分や自分の住む国だけが安全で快適ならばそれでいいんだと思っているかぎり、わたしたちはいつまでたっても世界の平和を実現できません。
　平和というのは、世界のどこかある場所にはあって、ほかのところにはない、というような状態をけっして指しません。
　世界中のすべての人がおたがいに平和でありたいと手をつなぎ、助け合うときに、みんなの見つめる視線の先にあるのが「平和」です。世界のどこか一か所でも、人々のいのちがおびやかされているような国や地域があるのならば、世界はまだ平和ではないのです。

（出典：日野原重明「十歳のきみへ―九十五歳のわたしから」（冨山房インターナショナル、2006年4月18日、150−152頁）なお、原文は縦書きであるが、横書きに改めて転載した。

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100
200
300
400
500
600

(　　　　字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　日野原氏は、戦争をしていない日本を「平和」と考えるのではなく、世界中のどこにも戦争や紛争が起きていない事、貧困や食糧不足がなく、医療から疎外されていない事など広い視野で考えてほしいと述べている。私はここに、生きている事を楽しいと思えるかという視点を提案したい。

　戦争がなく、平均寿命が世界一になったという日本でも命を脅かされる事がある。それがいじめや虐待だ。児童虐待は周知度向上のためか年々増加し、コロナ禍の在宅日数増加で家庭内暴力も増えているという。いじめの内容も無視や喧嘩ではなく恐喝など犯罪と呼べるものが増加しており、いじめのターゲットにならないように振る舞いに気を付ける必要があるという。はたしてそのような状況を平和と呼べるのだろうか。

　本当の平和とは万人に衛生的な環境での衣食住が保障される事だけではなく、人にこびることなく個性を発揮できる事だと考える。無論他者を傷つけない配慮は必要だが、必要以上に他者を慮って自身の望む事を行わない事は自分自身への虐待ではないだろうか。戦争中に思想弾圧が起きる事はままあるが、戦時中ではない学校や仕事場で、人間関係悪化の可能性のために自由に意見を言えない事もまた思想弾圧であろう。いかなる政治的宗教的社会的な弾圧もなく、躊躇せずに意見を言える事が本当の平和であり、それらは生きる事の喜びに通じてくると考える。

(595字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　私は、世界中のすべての人がお互いに平和であることを望み、お互いを思いやり、助け合う世の中になれば「本当の平和」に繋がるのではないかと思う。戦争を体験していない世代であるが、平和な世の中であることを願わずにはいられない。「本当の平和」とは、争いのない世の中であると私は考える。

　そう考える理由の1つに、自分自身が戦争を経験していない毎日を過ごし、平和な毎日を過ごしていると実感しているからである。戦争については本やニュースで知ることがあるが、やはり怖いものだと思う。誰かを攻撃するのではなく、お互い受け入れ認め合えれば、より良い関係を築いていけると考える。2つ目の理由として、家族に教えられてきた相手を思いやる気持ちを世界にも広めていけば、優しい気持ちになるのではないかと思う。学校で友達が困っている時に、声をかけ寄り添うことができれば、信頼関係が生まれる。自分も困った時は助けてもらえるからである。

　したがって私は「本当の平和」を作っていくためには、一人ひとりが相手を思いやる気持ちが大切だと考える。相手が何に対し悩み苦しんでいるのか、力になってあげたい。その為に自分自身の家族や友達を大切にすること、毎日平和に暮らしていることに感謝することをもっと意識していこうと思う。そして、自分の身の回りだけでなく、地域のこと、世界のことにも目を向けていけたら「本当の平和」に繋がっていくだろう。

(593字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第19講

データ型の対処法（1）

要約問題の基本

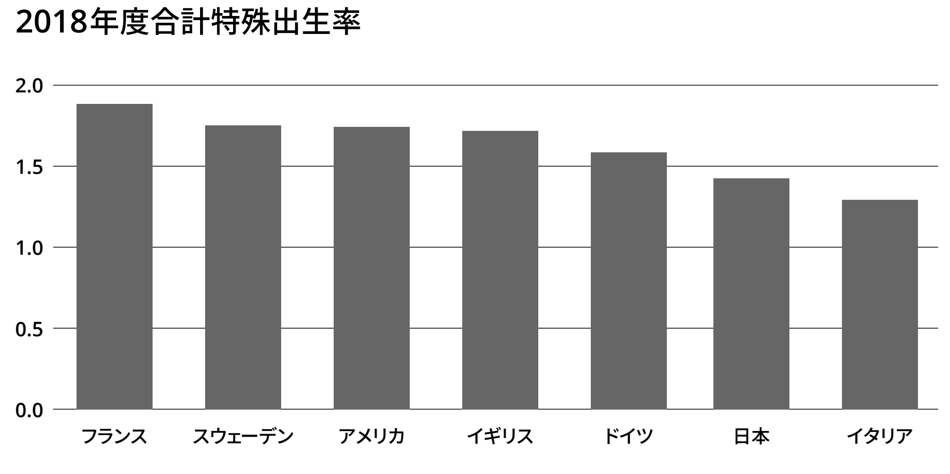
チャプター1

レクチャー

ポイント

データ型の設問の一つに（　　　　　　　　　　　）問題がある。
（　　　　　　　　　　　）とは図表の（　　　　　　　　　　　）をまとめたものである。
図表の（　　　　　　　　　　　）的な傾向と（　　　　　　　　　　　）な部分に注目して読み取ろう。
グラフの特性によって注目すべきところがあるので、さまざまなグラフに慣れておこう。

○ 棒グラフ：データの大小を表す

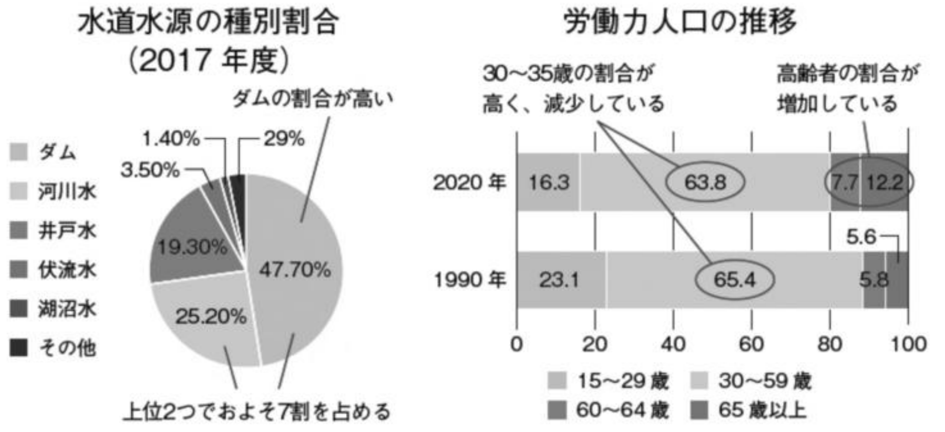


出典：『令和2年版　少子化社会対策白書』（内閣府）
https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2020/r02pdfhonpen/pdf/s1-2.pdf　p6の図にもとづいて作成

生徒メモ欄

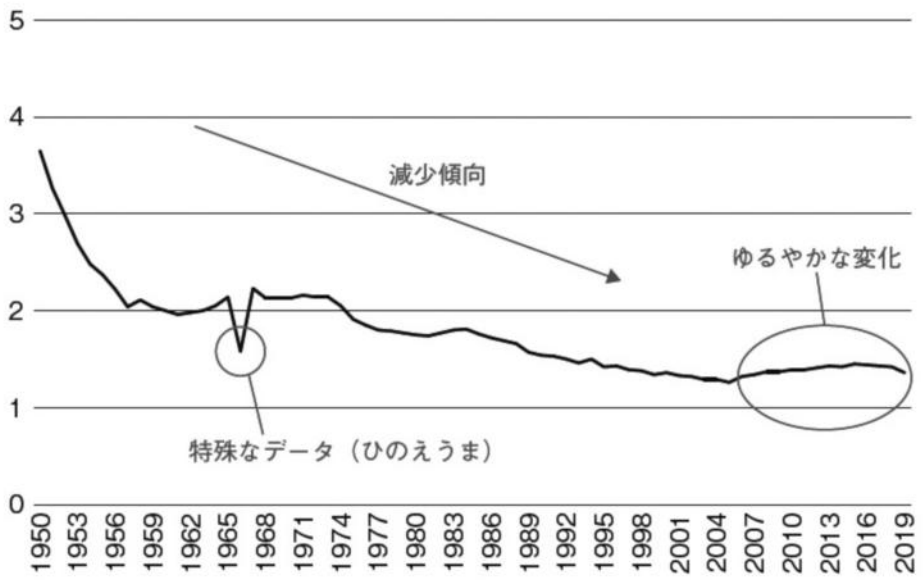
教員記入欄

○ 円・帯グラフ：割合を表す



出典左：水道水源の状況 http://www.jwwa.or.jp/shiryou/water/water02.html（公益社団法人日本水道協会）、
出典右：令和2年版　厚生労働白書「労働力人口・就業者数の推移」https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/19/backdata/01-01-03-03.html

○ 折れ線グラフ：量の変化を表す

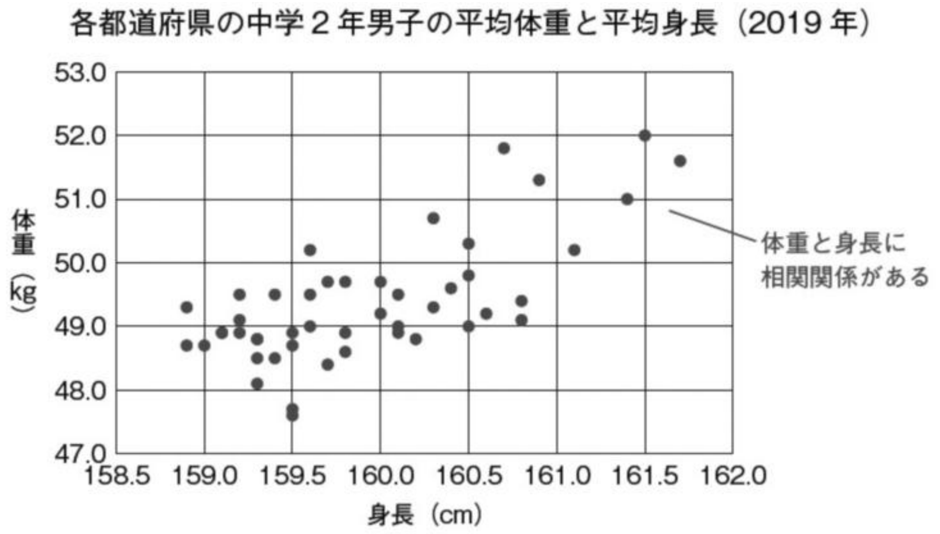


出典：令和2年版　厚生労働白書
https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/19/dl/1-01.pdf p.9（厚生労働省）に基づいて作成

生徒メモ欄

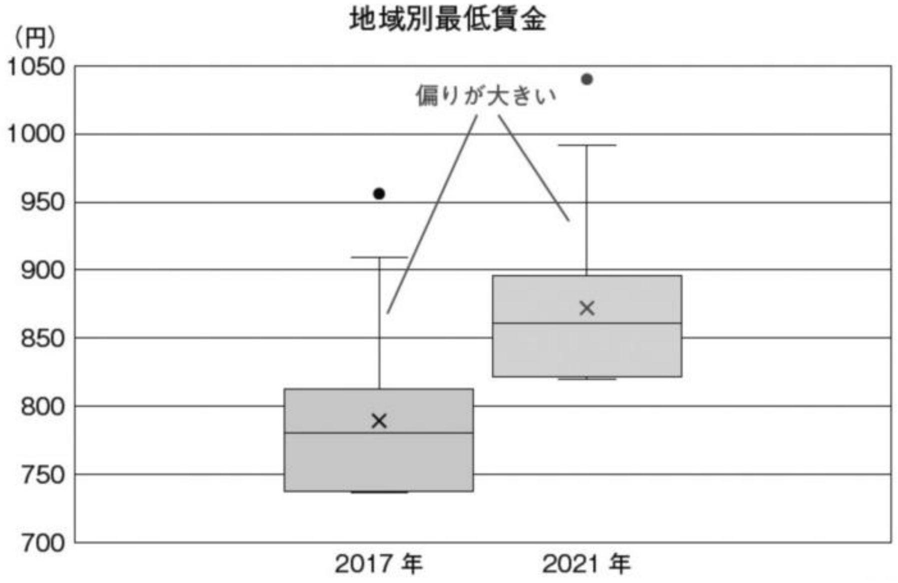
教員記入欄

○ 散布図：データの関連を表す



出典：学校保健統計調査「統計でみる都道府県のすがた」2021https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00400002&tstat=000001011648&cycle=0&tclass1=000001156246&tclass2=000001156248&tclass3val=0（文部科学省）に基づいて作成

○ 箱ひげ図：データの偏りを表す



出典：「平成14年度から令和2年度までの地域別最低賃金改定状況」（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000541154.pdfに基づいて作成

生徒メモ欄

教員記入欄

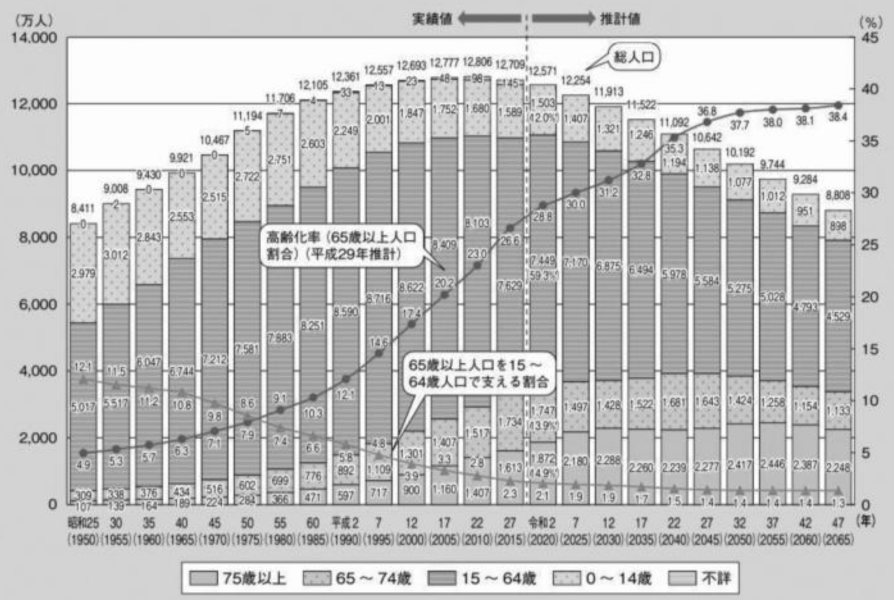
チャプター2

問題およびヒント①

問題を見てみよう

以下の図から読み取れることを100字以内でまとめなさい。
（オリジナル）

図1－1－2　高齢化の推移と将来推計



資料：棒グラフと実線の高齢化率については、2015年までは総務省「国勢調査」、2020年は総務省「人口推計」（令和2年10月1日現在（平成27年国勢調査を基準とする推計））、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。
（注1）2020年以降の年齢階級別人口は、総務省統計局「平成27年国勢調査　年齢・国籍不詳をあん分した人口（参考表）」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950年～2015年の高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。ただし、1950年及び1955年において割合を算出する際には、（注2）における沖縄県の一部の人口を不詳には含めないものとする。
（注2）沖縄県の昭和25年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び昭和30年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）は65～74歳、75歳以上の人口から除き、不詳に含めている。
（注3）将来人口推計とは、基準時点までに得られた人口学的データに基づき、それまでの傾向、趨勢を将来に向けて投影するものである。基準時点以降の構造的な変化等により、推計以降に得られる実績や新たな将来推計との間には乖離が生じ得るものであり、将来推計人口はこのような実績等を踏まえて定期的に見直すこととしている。
（注4）四捨五入の関係で、足し合わせても100%にならない場合がある。

出典：令和2年版高齢社会白書（全体版）
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s1s_01.pdf(内閣府)

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

（　　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S　A　B　C　F
表記・表現	誤字・脱字	S　A　B　C　F
	制限字数	S　A　B　C　F
	文体の統一	S　A　B　C　F
	表現技法	S　A　B　C　F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

要点

①総人口は2010年まで(　　)し、その後(　　)
2010年に1億2806万人、2065年には8808万人
②高齢化率は(　　)し続ける　2015年には26.6%、2065年には38.4%
③65歳以上人口を15～64歳人口で支える割合は(　　)し続ける
2015年には2.3人で1人、2065年には1.3人で1人の高齢者を支える

	総	人	口	は	1	億	3	千	万	人	弱	と	な	る	20	10	年	を	ピ
ー	ク	に	減	少	す	る	。	高	齢	化	率	は	20	25	年	に	は	3	割、
20	65	年	に	は	4	割	弱	と	上	昇	す	る	。	65	歳	以	上	人	口
を	15	～	64	歳	人	口	で	支	え	る	割	合	は	減	少	し	、	20	25
年	に	2	%	を	割	る	。												

100

(88字)

	20	65	年	に	は	総	人	口	は	今	よ	り	も	減	る	が	、	65	歳
以	上	の	高	齢	者	の	割	合	が	増	え	て	、	0	か	ら	14	歳	の
割	合	が	減	っ	て	し	ま	い	、	今	よ	り	も	少	子	高	齢	化	と
な	る	。	一	人	当	た	り	の	、	支	え	る	高	齢	者	の	人	数	が
増	え	て	し	ま	う	の	で	、	介	護	問	題	が	心	配	と	な	る	。

100

(100字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

問題およびヒント②

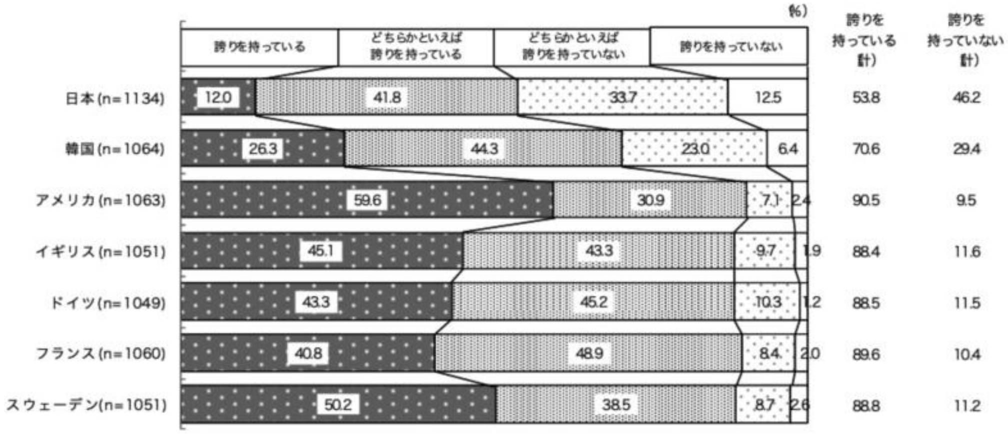
問題を見てみよう

以下の図は日本、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン各国の満13歳から満29歳までの男女1000サンプルを回収することを原則とした調査の結果です。質問は「あなた自身のことについてうかがいます。あなたは、正義感について誇りを持っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。」というものです。

この図から読み取れることを100字以内でまとめなさい。

(オリジナル)

Q2 (g) 正義感



出典:我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成30年度)
https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/ishiki/h30/pdf/s2-1.pdf　p.16(内閣府)

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

（　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S　A　B　C　F
表記・表現	誤字・脱字	S　A　B　C　F
	制限字数	S　A　B　C　F
	文体の統一	S　A　B　C　F
	表現技法	S　A　B　C　F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

答案例②

要点

① 「どちらか」を含めた「(　　　　　　　　　)」割合は、アメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデンが9割前後、韓国は7割、日本は5割
② 「どちらか」を含めた「(　　　　　　　　　)」割合は、日本が5割弱、韓国が3割弱、アメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデンが1割前後

「誇りを持っている」割合はアメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン・韓国が高い。一方、「誇りを持っていない」割合は日本が高く、アメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン・韓国は低い。

(100字)

　7カ国の中で、日本が1番誇りを持っていない人が多く、その合計は半数近くを占めている。それに対し、日本以外の国では誇りを持っている人の合計は7割を超えており、欧米では9割近くとなっている。

(94字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S　A　B　C　F
表記・表現	誤字・脱字	S　A　B　C　F
	制限字数	S　A　B　C　F
	文体の統一	S　A　B　C　F
	表現技法	S　A　B　C　F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター6

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

第20講

データ型の対処法(2)

論述問題の基本

チャプター1

レクチャー

ポイント

データ型の設問の一つに(　　　　　　　　　　)問題がある。

(　　　　　　　　　　)とは図表で得られた情報をもとに、自分の主張を論じるものである。

まずは図表の(　　　　　　　　　　)を把握し、事実関係を把握する。

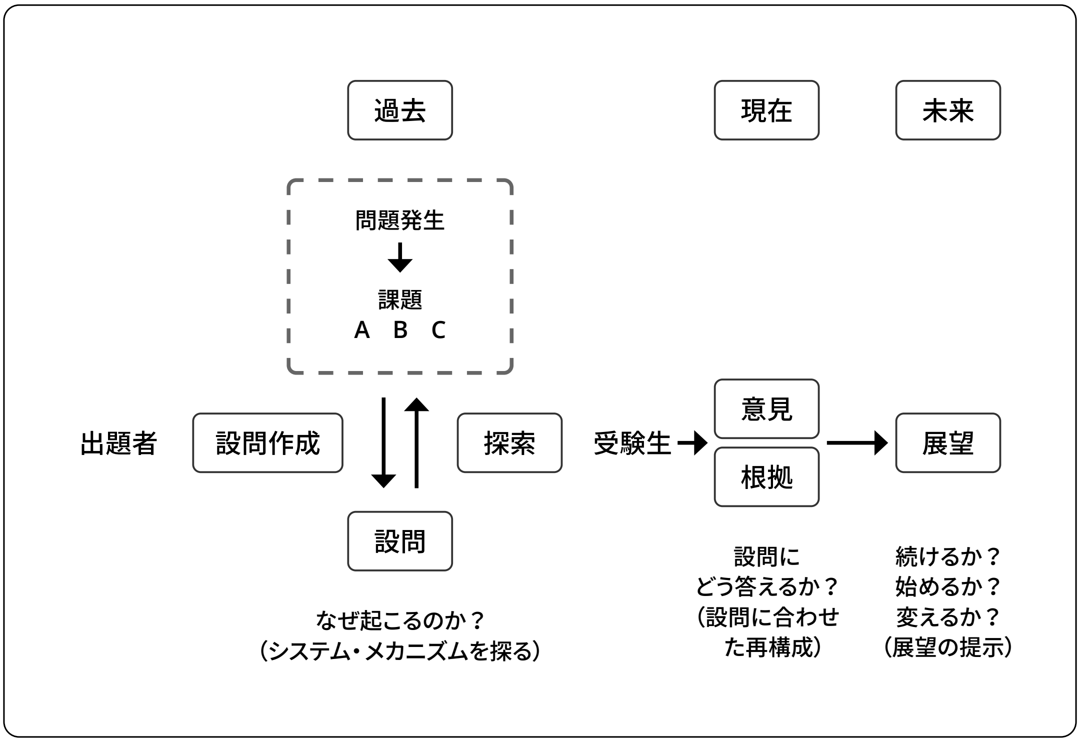
そのうえで、図表の(　　　　　　　　　　)がなぜ起こるのか、(　　　　　　　　　　)を自分が得ている事実と掛け合わせながら演繹的に捉えたり、ときには仮説を立てたりしながら(　　　　　　　　　　)を考えよう。

その上で、今後どのようにすれば善き未来になるか、仮説を立てながら(　　　　　　　　　　)を考えよう。

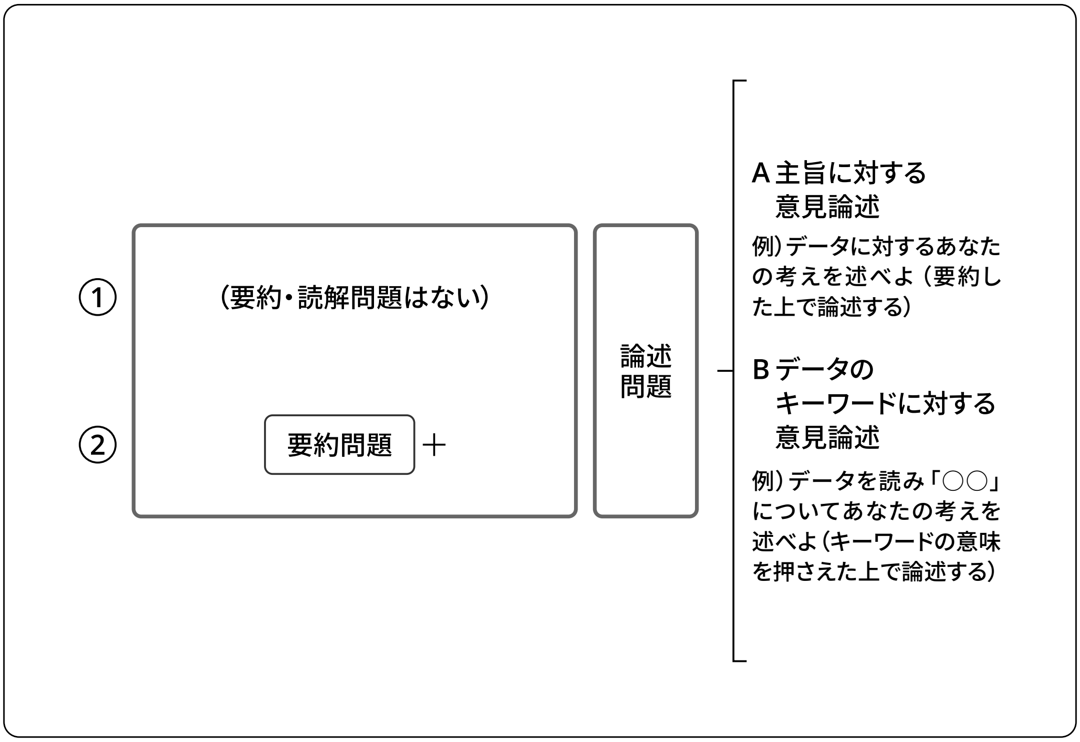
生徒メモ欄

教員記入欄

○ 論述問題出題者の意図



○ 論述問題のイメージ



生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17のゴール（目標）と169ターゲットが掲げられています。下記のグラフは17のゴールの情報にアクセスできる国・地域の割合を示したものです。その特徴をまとめた上で、こうした傾向になった要因を考察し、ゴール達成に向けてどのような施策を講じるべきか、あなたの考えを600字以内で述べてください。

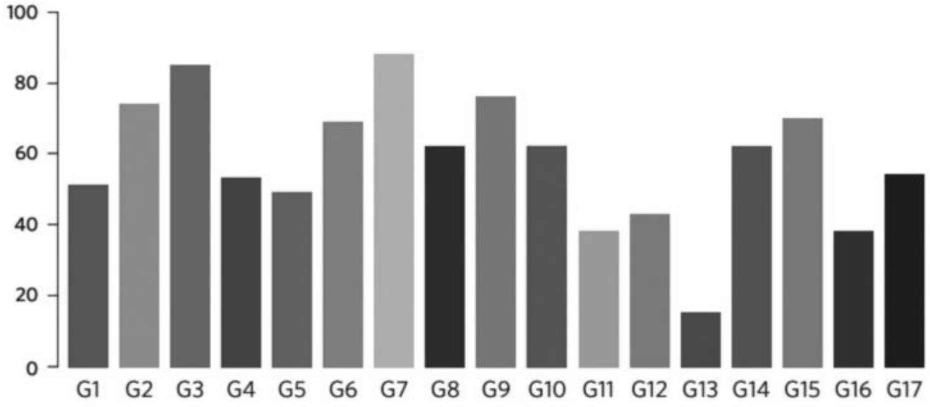
（オリジナル）

出典：https://www.unic.or.jp/files/sdg_poster_ja_2021.pdf

生徒メモ欄

教員記入欄

タイトル：【目標別】データ入手可能な国または地域の割合(%)



Note：本表のデータは、SDGs指標の枠組みや算定方法の変更により、持続可能な開発目標報告書2020のデータと比較することはできません。
SDGsの指標フレームワークは2020年に包括的な見直しが行われ、その結果、指標の置き換え、修正、追加、削除という形で36の大きな変更がありました。

出典：https://unstats.un.org/sdgs/report/2021/ , p5

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

500

600

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

観点	項目	評価
設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　SDGsの目標の中心ともいえる脱二酸化炭素を考えると、G7が最もアクセス可能な課題である事は当然だろう。他に8割以上の国がアクセスできる課題に、G3がある。しかし「すべての人」に関係する他の課題のG1、G5、G16においては約50%だ。G2は70%以上の国が当てはまるが、貧困と飢餓は密接な関係性を持つ為、G1との間に約20%もの差が開く事は不自然ではないだろうか。6割以上が当てはまる課題にはG6、G8G9、G10、G14、G15がある。これらは人が、暮らす環境を整えることを課題にしているが、現在の資本主義経済をこのまま発展させ、対等な海外貿易関係を築こうという意思表示のように思われる。G10と類似内容であるG1、G5、G16のアクセス数と約10%の差があるのはなぜなのだろうか。G1、G5、G16にあるのは個人の顔である。世界の超富裕層は、全人口の1%にして全資産の37.8%を占め全人口の半分は全資産の2%を保有するに過ぎない。現在の資本主義経済が今後も続く限り、この差が縮小されることはないように思う。よって、環境に配慮しても、17課題のうち改善しない課題もあるのではないかと考える。富の集中を防ぎ、皆が苦しまず暮らしていけるような経済の構築こそが貧困を解消し、飢餓をなくし、不平等を改善していくのではないだろうか。SDGsのゴール達成のためには、富の再分配システムが必要である。

(578字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
５段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　このグラフで最も達成率が低いのは、「G13気候変動に具体的な対策を」である。次に低いのは、「G11住み続けられるまちづくりを」である。地球温暖化の進行により、生態系の変化や世界の平均気温の上昇が引き起こされている。各国の環境変化の様相は異なり、かつ気候変動は長い時間をかけて起こるため、15年間で気候変動を解消するのは困難であることが達成率の低い要因と考える。また気候変動による海面上昇で、島国や水辺の街の居住地が沈没し、人々は同じ土地に住み続けることができない。よって、G13が解決しなければ、G11は達成できないと考える。一方で、最も達成率が高いのは、「G3すべての人に健康と福祉を」であり、続いて、「G7エネルギーをみんなにそしてクリーンに」である。発展途上国では、国境なき医師団の活動等により、多くの人が治療を受けられるようになったため、健康な人の割合は増加していくと推測される。太陽光や風力等の自然エネルギーを使った発電は、既に普及が進んでいるので、このまま発展していくことが可能だろう。達成率に差が出る理由は、解決までに要する時間の長さだと考える。医療やエネルギーの問題は、病院や発電所の建設等により早期に解決できるが、気候変動の問題はすぐには解決できない。私は、各国の気候変動を調査研究する専門施設を建設し、多くの研究者が改善のための知恵を出し合えば、目標達成できる国が増えると考える。

（591字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター6

おわりに

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄

おわりに

この講座では、小論文の基本的なスキルとテクニックを学んできました。そして、これらを学ぶ過程で、小論文の問題を通してさまざまな世界に触れることができたと思います。これらを通して、いま見つめている世界がほんの一部であること、視野を広げるとさまざまな問題や課題が横たわっていること、その解決に向けて自分を世界のどこに位置付ければ善き未来をつくることができるのかを考えることがとても大事だと気づいてほしいと願い、設問を選んだり、つくったりしました。

また、課題に取り組む過程で、学ぶためのスキルやテクニックも得られたのではないでしょうか。さまざま資料を読み、理解し、あなたの意見をどう構築するのか、という営みは、大学などの上級学校では当たり前のように行うことです。ただ、実際にやってみると、それほど大変なことではないと感じたかもしれません。文献に示される一つ一つの事柄が新鮮で、いままで学んだことがないことに触れるたびに、知的好奇心が掻き立てられることも多かったのではないでしょうか。

私はそもそも小論文の世界でよい答案を書く表面的なテクニックを教えても、それは対症療法でしかないし、私が存在する意味はそこには見出せないと感じています。自分自身が世界をつくる一員だと理解し、世界中に横たわる問題や課題を見つめ、解決・行動する力を身につけるのが、学びの本質だと思います。そこを真正面から捉え、「あなたはどういう世界を作りたいのか（未来創造）」とどう接続するのかを徹底的に考え抜くことが、これからの世界を次世代に引き継ぐ我々にとっては最も大事なことです。だからこれまで先人たちが培ってきた知恵を尊重し、さらに歩を進めることが大事だと思っています。

そう捉えると、この講座を受講する前のあなたと、今のあなたは遥かに変わったはずです。取り組む前は、文章を読むのが苦手だったり、文献を探すのに時間がかかったり、慣れない言葉に苦戦したりしたかもしれません。しかし、少し大変だったかもしれないけれど学びに向き合おうというマインドもスキルも備わったことでしょう。世界づくりへの入り口に立つことができた喜びを味わえるのは、小論文の醍醐味なのではないかと思います。

この経験はきっと大学・短大・専門学校や職業人になったときの活動を支えることになりますし、もちろん入学試験等でもあなたにとって大きな自信になるはずです。最後まで取り組んでくれたあなたは、あなたが持つ才能をもとに、きっと世界をつくる人になってくれると信じています。

この講座で養った実力をもとに、全力で小論文の答案作成に挑んでください。きっとあなたにとって素敵な学びとなることでしょう。私も、これからもあなたを応援します。これからもぜひ頑張ってください！

神崎 史彦

巻末資料① 問題文テーマ・キーワード一覧

講義数	講名	関連キーワード	関連テーマ
第1講	小論文とは何か	印象	自己アピール文、自己とは何か、アイデンティティ
第2講	小論文でどういう力が問われるか	人生 計画的偶発性理論	志望理由、研究計画
第3講	小論文を紡ぐ手順(1) 読む−考える−書く	食文化	ファストフード、スローフード、地産地消
第4講	小論文を紡ぐ手順(2) 設問を「読む」	勉強	学問とは何か
第5講	小論文を紡ぐ手順(3) 内容を「考える」	発明 開発	経済開発、持続可能な開発、都市再開発、開発経済学、豊かさとは何か
第6講	小論文を紡ぐ手順(4) 段落構成を「考える」	ソーシャルメディア	ソーシャルメディア、自己・対人関係、健康、プライバシー
第7講	小論文を紡ぐ手順(5) 原稿用紙に「書く」	18歳選挙権	成人年齢引き下げ、一票の格差、小選挙区制、大選挙区制
第8講	小論文を紡ぐ手順(6) 時間配分を意識する	古典	日本文化の特徴、歴史を学ぶ意味、日本と西洋の対比
第9講	問いの紡ぎ方	スポーツマンシップ	オリンピズム、パラスポーツ、ドーピング、部活動の地域移行
第10講	意見・根拠の紡ぎ方(1) 知識や理論を当てはめる 【演繹】	人工知能	機械学習、ディープラーニング

巻末資料① 問題文テーマ・キーワード一覧

講義数	講名	関連キーワード	関連テーマ
第11講	意見・根拠の紡ぎ方(2) 事例をもとに理論を導く 【帰納】	大人	大人になりきれない大人、 経済的に親から自立できない大人
第12講	意見・根拠の紡ぎ方(3) 対立する物事を批判する 【反論・再反論】	夫婦別姓	改姓の不利益、旧姓通称使用、事実婚
第13講	意見・根拠の紡ぎ方(4) 対立する物事から新しい見識を見出す 【弁証法】	ベビーカー乗車	平等と公平、公正
第14講	展望の構想の方法 知をもとに仮説を立てる 【アブダクション・リトロダクション】	再生可能エネルギー	原子力発電、地政学、地経学
第15講	形式別の基本出題パターン テーマ型・課題文型・データ型	公共性	公共の福祉、個人の利益、プライバシー
第16講	課題文型の対処法(1) 要約問題の基本	部活動 アイデンティティ	部活動の地域移行・外部委託、 エスニック・マイノリティ、 多様性、異文化理解、多文化共生
第17講	課題文型の対処法(2) 読解問題の基本	ジェンダー 教育政策	ジェンダー・アイデンティティ、 ジェンダー規範、ジェンダー役割、 学習指導要領、OECD、 GIGAスクール構想、学びの保障
第18講	課題文型の対処法(3) 論述問題の基本	平和	安全保障、戦争、多民族国家、 外交圧力と国際関係の緊張
第19講	データ型の対処法(1) 要約問題の基本	高齢化 正義	老老介護、医療、 高齢者の孤独死・過疎化、限界集落、 公正としての正義、善、良心
第20講	データ型の対処法(2) 論述問題の基本	黄金律	ESD、ESG、MDGs(ミレニアム開発目標)、 白銀律、白金律

巻末資料②　小論文　ルーブリック

ルーブリックとは、学習の達成度の評価指標を表で示したものです。横軸は評価の観点、縦軸は学習者の到達度を示します。なお、それぞれの評価基準を文章で表現していますが、抽象的に示していますので、評価基準の文章と自分の解答案と照らし合わせ、まずは自分なりに「このあたりはできている（できていない）」という評価をしてみてください。そして、次のレベルに到達するにはどのようなことをする必要があるのかを考え修正してください。目安として、すべての項目がB評価以上になるように頑張ってみてください。

●内容

項目	設問の理解	意見（主張）		理由（根拠）		論理性・簡潔性	
	出題の意図および背景の理解	設問と意見との関係	独自性・独創性・発展性	事実をもとにした論証	重要性・問題性	適切な論理展開	簡潔な記述
評価ポイント	設問内容の理解 ※ 課題文・データ等の読解を含む	① 設問との形式的な呼応 ② 設問との内容的な呼応	① 自分なりに意見を構築する姿勢 ② 意見の視点・手段の独創性 ③ 意見の視点・手段の発展性	① 事実をもとにした論証 ② 主観を排除した事実の取り扱い ③ 総括的な事実認識による論証（断片的な事実認識の否定） ④ 深層的な事実認識による論証（表層的な事実認識の否定）	① 設問やテーマに潜む問題・課題の適切な理解 ② ①の重要性・深刻性の理解と指摘 ③ 第三者や他分野への影響を鑑みたうえでの優先順位付けの有無	① 論旨の逸れのなさ ② 論理の飛躍のなさ ③ 反論の余地のなさ	① 論旨に関係ない記述のなさ ② 冗長な記述の排除
S	設問の内容を十分に理解して論じている。	設問に呼応する意見を示している。	意見に独創性があり、かつ提示している改善策や展望に発展性および具体性がある。	社会的もしくは心理的背景を踏まえ、正しい事実認識をもとに、総括的・深層的な視点で論証を行っている。	設問やテーマに潜む問題・課題を十分に理解し、その様々な分野における影響を鑑みたうえで、他の意見と比べて重要・深刻であるという認識をしている。その上で、意見を主張する重要性もしくは問題性を理由説明している。	論旨が逸れたり、論理が飛躍したりすることなく文章を展開している。かつ、反論の余地がない。	論旨に関係ない記述がなく、言葉を吟味して、無駄なく文章を展開している。

項目	設問の理解	意見（主張）		理由（根拠）		論理性・簡潔性	
	出題の意図および背景の理解	設問と意見との関係	独自性・独創性・発展性	事実をもとにした論証	重要性・問題性	適切な論理展開	簡潔な記述
A	設問の内容をおおよそ理解して論じている。	設問に呼応する意見を示しているように見えるが、実のところ正しく答えられていない。	意見に独創性がある。	社会的もしくは心理的背景を踏まえ、正しい事実認識をもとに論証を行っている。	設問やテーマに潜む問題・課題を理解し、第三者にとって重要・深刻であるという認識のもと、意見を主張する重要性もしくは問題性を理由説明している。	論旨が逸れたり、論理が飛躍したりすることがほぼなく文章を展開している。かつ、反論の余地を極力回避している。	論旨に関係ない記述がほぼなく、論理性に支障がないが、言葉の精選がなされていなかったり、内容が重複して無駄な記述が多かったりする。
B	設問の内容に関する理解が不十分なまま論じている。	設問に関係するテーマで論じているが、設問に呼応していない。	自分なりの考察をもとに、意見を示している。	できる限り主観を排除して事実を取り扱い、正しい事実認識をもとに論証を行っている。	意見を主張する重要性もしくは問題性を理由説明しているが、その重要性・深刻性を理解して述べているとは言い難い。	論旨が逸れている部分はないが、論理の飛躍があり、理由（根拠）が成立しない。	論旨に関係ない記述があるものの、論理性にはほぼ支障がない。
C	設問の内容を理解しているとは言いがたい論述である。	設問に呼応する意見を示しておらず、設問に関係するテーマでも論じていない。	意見を提示しているものの、一般論の受け売り、もしくは類似したものであり、自分で考察したものとは言いがたい。	特殊事例や都合のよい事実をもとに論証しようとしている。もしくは断片的な情報での論証にとどまっている。	理由説明をしているものの、自らの意見の重要性・問題性を論じているとは言い難い。	論旨が大きく逸れており、理由（根拠）が成立しない。	論旨に関係ない記述があるために、論理性に支障をきたしている。
F	設問を理解しているかどうかが判定できない。	設問に対する意見を示しているかどうか、判定できない。	意見が不明確であり、自分で考察しているかどうかが判定できない。	事実をもとに論証しているかどうか、判定できない。	意見の重要性・問題性を論じているかどうか、判定できない。	論理展開が判定できない。	論旨に関係ない記述しかない。もしくは判定できない。

巻末資料② 小論文 ルーブリック

●表記・表現

項目	表記・表現				
	誤字・脱字	段落の設定	制限字数	文体の統一	表現技法
評価ポイント	① 誤字・脱字の有無 ② 漢字かな交じりの表現の有無	意味性のある段落構成	制限字数の厳守	常体の統一	表現技法
S	誤字・脱字がなく、漢字かな交じりの表現もない。	意味性を持って段落を区切っている。	制限字数の9割以上、かつ制限字数をオーバーしていない。	文体を「だ・である」に統一している。	明らかな表現上の不備がない。(呼応表現、句読点、文のねじれのなさ、主語・目的語・述語の無用な省略のなさ、無用な省略語・若者言葉の不使用)
A	—	—	—	—	—
B	—	—	—	—	—
C	誤字・脱字および漢字かな交じりの表現が1つおよび2つある。	意味性を持たずに段落を区切っている箇所がある。	制限字数の8割〜9割未満である。	—	明らかな表現上の不備が1つおよび2つある。(呼応表現、句読点、文のねじれのなさ、主語・目的語・述語の無用な省略のなさ、無用な省略語・若者言葉の不使用)
F	誤字・脱字および漢字かな交じりの表現が3つ以上ある。	段落を区切っていない、もしくは段落を区切りすぎている。	制限字数の8割未満、もしくは制限字数をオーバーしている。	文体を「だ・である」に統一していない。	明らかな表現上の不備が3つ以上ある。(呼応表現、句読点、文のねじれのなさ、主語・目的語・述語の無用な省略のなさ、無用な省略語・若者言葉の不使用)

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。